

# 医史学関係文献目録 (五十音順)

平成18(2006)年

順天堂大学医史学研究室編

- |                   |                  |  |
|-------------------|------------------|--|
| 01 単行本            | 24 耳鼻咽喉科史        | 47 病院史   |
| 02 医学切手・書画        | 25 種痘史           | 48 病跡学   |
| 03 医学教育           | 26 獣医学史          | 49 病理学史  |
| 04 医学用語           | 27 書簡            | 50 風俗史   |
| 05 医師会・学会         | 28 書誌学           | 51 仏教医学史   |
| 06 医史学一般          | 29 小児科史          | 52 法医学史  |
| 07 医の倫理           | 30 神経学史          | 53 放射線医学史  |
| 08 医療器械           | 31 診断学史          | 54 本草学史・博物学史                                       |
| 09 医療制度史・医療史      | 32 整形外科史         | 55 麻醉学史  |
| 10 衛生・公衆衛生史・予防医学史 | 33 精神医学史         | 56 門人録   |
| 11 解剖学史           | 34 生物学史          | 57 薬学史   |
| 12 眼科史            | 35 西洋医学史         | 58 蘭学史   |
| 13 看護史            | 36 生化学史          | 59 リハビリテーション関係史                                    |
| 14 寄生虫学史          | 37 生理学史          | 60 検査  |
| 15 教室・大学史         | 38 地方史           | 61 その他   |
| 16 軍陣医学史          | 39 治療史           | 62 中国語文献   |
| 17 形成外科学史         | 40 伝記            | 63 韓国語文献   |
| 18 外科史            | 41 伝記(双)         | 64 欧文文献  |
| 19 細菌学史           | 42 伝染病史・防疫史・感染症史 |  |
| 20 産婦人科史          | 43 東洋医学史・伝統医学史   | 今回は17, 19, 34, 36, 48, 49, 52, 56, 63にあたる文献はありません。 |
| 21 歯学史            | 44 内科史           |  |
| 22 史跡・記念碑         | 45 皮膚科史          |  |
| 23 疾病史            | 46 泌尿器科史         |  |

## 01 単行本

荒井保男『生きる糧となる医の名言』中央公論新社  
 奥沢康正, 園田真也(共編)『眼科醫家人名辞書』思文閣出版  
 川瀧真人『水滴は岩をも穿つ』梓書院  
 喜多医師会百年史編纂委員会『大洲医史・喜多医師会百年』喜多医師会  
 圭介文書研究会『錦窠翁日記(明治九年八月~十二月)』名古屋市東山植物園  
 三枝純郎『肛直外科迫害史』羽衣出版  
 新村拓『健康の社会史 養生, 衛生から健康増進へ』法政大学出版局

新村拓(編)『日本医療史』吉川弘文館

高橋伸明『杉田玄白探訪』梓書院

中村光夫『埼玉の疱瘡神II』

中村光夫『千葉の疱瘡神』

中村光夫『東京の疱瘡神』

中村光夫『八丈島と疱瘡』

(社)日本整形外科学会『日本整形外科学会80年史』

樋口輝雄『明治医師人名鑑』

堀田慎一郎『農学部誕生と安城キャンパス一学部の誕生と草創期①一』名古屋大学大学文書資料室

## 02 医学切手・書画

- 「医学の郵便印を求めて(5)医学会の小型印 第51回日本小児保健学会と第28回日本新生児学会総会」池田征一郎『STETHOSCOPE』(183)3-5
- 「那覇港に上陸した英人の宣教医ベッテルハイム」池田征一郎『STETHOSCOPE』(186)6-11
- 「切手・医学史をちこち50木下奎太郎生誕120年」金山知新『STETHOSCOPE』(184)10
- 「切手で医学散歩 <386>~<436> 狂犬病(1) 他」金山知新『Medical Tribune』39(1-52)
- 「明治時代の売薬の広告」酒井シヅ『CLINICIAN』(546)2-5
- 「コペルニクスの故郷を訪ねて」佐久間正人『STETHOSCOPE』(183)6-12
- 「江戸時代医家の肖像(抄)」芝哲夫『医譚』(101)91
- 「狩野一信筆「増上寺五百羅漢図」中に描かれた江戸時代後期の柔道整復術固定法の観察」田口大輔, 竹内義享, 篠原昭二『柔道整復・接骨医学』14(4)297-301
- 「医学切手研究の先達 古川明先生・内藤伝兵衛先生・蓮見武爾先生」豊田守國『STETHOSCOPE』(186)12-13
- 「野口英世 遅れたMicrobe Hunter」豊田守國『STETHOSCOPE』(186)3-5
- 「熊のキモ 熊胆(ゆうたん)(その1-3)」中村實郎『STETHOSCOPE』(183-185)13-17, 3-7, 7-10
- 「ネアンデルタール人発見150年」羽生順一『STETHOSCOPE』(185)3-6
- 「明治初期錦絵に見る乗物と車いす」山内閑子『日本生活支援工学会誌』6(1)46-53
- 「新町・於菊稻荷神社(おきくいなりじんじゃ)に奉納された「歯科医の絵馬」について一第2報一(抄)」湯浅高行, 藤野瑠男, 屋代正幸『日本歯科医史学会々誌』26(4)223

## 03 医学教育

- 「Starting Point of MR (Medical Representative) Education and the Creation of a Self-learning System」Hiroshi Yoshihara, Tomoya Sakurada, Nobunori Satoh, Shiro Ueda『薬史学雑誌』41(2)65-69
- 「スロイスの「水の系統分析」講義 「薬剤学3付

録:水検査論」藤本純吉筆記「処刑規制, 賈造試験, 水検査法」稲坂謙吉筆記板垣英治『北陸医史』27(1)86-95

- 「医学教育の基礎となる考え方と実践 医学教育カリキュラムの変遷とその背景 基礎医学の役割(抄)」大西弘高『医学教育』37(Suppl.)26
- 「小竹英夫著「北海道医学教育史攷」をめぐって」神谷昭典『医学史研究2004-2005』(86)21-30
- 「幕末大坂の医学塾に関する一考察—適塾と華岡塾・合水堂を中心に」古西義麿『近畿大学日本文化研究所双書一』143-162
- 「Population-based Medicineの教育 個人から集団へ わが国のPBM教育の歴史と現状(抄)」多田羅浩三『医学教育』37(Suppl.)22-23
- 「世界の歯科の教育機関 アメリカの歯科教育」森昌彦『歯科医療』20(4)99-109

## 04 医学用語

- 「フォークト・小柳・原田症候群 冠名病名の歴史的変遷」大庭紀雄『日本眼科学会雑誌』110(2)144-149
- 「江戸時代には精神障害に関してどのような病名が流布していたか 薬の効能書による検討」鈴木英鷹, 本多義治, 本多秀治, 鍋木俊雄, 野村和樹『日本精神科病院協会雑誌』25(2)96-99
- 「刺絡」の名称に関する考察(抄)」友部和弘, 小曾戸洋『日本医史学雑誌』52(1)104-105
- 「日本における病名「糖尿病」の由来について」羽賀達也, 三輪一真『糖尿病』49(8)633-635
- 「病名に名を残した医師(抄)」原正道『神奈川医学会雑誌』33(2)244-246
- 「Pelger-Huet異常の読み方とその由来」深瀬泰旦『日本医事新報』(4287)95
- 「シュニッツラー転移のシュニッツラーについて」深瀬泰旦『日本医事新報』(4292)95
- 「血管炎と呼ばれる疾患 リベド血管炎 病名の歴史と妥当性について」増澤幹男『日本皮膚科学会雑誌』116(13)1990-1992

## 05 医師会・学会

- 「日本神経治療学会と私」安藤一也『神経治療学』23(5)539-541

- 「日本衛生学会75年のあゆみ 日本衛生学会50年史までの経過」稲葉裕『日本衛生学雑誌』61 (Suppl.) 1-6
- 「日本臨床神経生理学会のあゆみ（抄）」大田原俊輔『臨床神経生理学』34 (5) 327
- 「大阪で初めて開催された第3回医学会総会と医史学について（抄）」奥沢康正，園田真也，田村哲二『医譚』(101) 74-75
- 「日本病院薬剤師会の歴史（抄）」加野弘道『薬史学雑誌』41 (2) 105
- 「歯学会の歩み」古西清司，佐藤田鶴子，新谷明喜，筒井健機『歯学』94 (秋季特集) 25-30
- 「日本口腔科学会の発展の経緯」作田正義『日本口腔科学会雑誌』55 (4) 223-230
- 「日本音声言語医学会50年の歩み」澤島政行『音声言語医学』47 (1) 55-59
- 「日本レーザー治療学会の歩み」白戸千之『日本レーザー治療学会誌』5 (2) 10-18
- 「神経治療学会の設立の経緯と今日」田代邦雄『神経治療学』23 (5) 543-547
- 「日本未熟児新生児学会 50回を迎えて」多田裕『日本未熟児新生児学雑誌』18 (1) 11-16
- 「日本におけるリウマチの学会の歴史と展望」田中清介『臨床リウマチ』18 (1) 1-12
- 「日本神経治療学会開設の経緯について」濱口勝彦『神経治療学』23 (5) 533-537
- 「看護系学会の設立」平尾真智子『看護教育』47 (6) 526-527
- 06 医史学一般**
- 「日本と関連深い遺伝疫学の50年（英語）(Fifty years of genetic epidemiology, with special reference to Japan)」Morton Newton E『Journal of Human Genetics』51 (4) 269-277
- 「ヒポクラテスの木・二〇〇六アンケート，現地踏査による現状の調査—（抄）」稲松孝思『日本医史学雑誌』52 (1) 124-125
- 「江戸時代旅人病人の記録」今村善興『伊那』(54-7)
- 「シンポジウム「個人情報保護と医史学研究」一，「個人情報保護と医史学研究」のはじめに」岡田靖雄『日本医史学雑誌』52 (3) 425-434
- 「古典あれこれ 亡命と頭脳流出1-3」小川浩司『JOHNS』22 (10-12) 1512-1516, 1648-1652, 1790-1795
- 「中山文庫の阿蘭陀通詞分限帳について—天保九年及び天保十三年の分限帳を中心に—」織田毅『鳴滝紀要』(16) 73-88
- 「戦前の日本における医学・歯学の発達（抄）」金子剛，一色泰成『慶應医学』83 (1) 55
- 「脳死に関する研究の変遷」木下源弘『脳死・脳蘇生』18 (1) 36-40
- 『『今昔物語集』の中の身体に関わる表現（一）（抄）」計良吉則『日本医史学雑誌』52 (1) 52-53
- 「蘇民将来とホスピタリティ」古閑博美『儀礼文化』(37)
- 「医の歴史 医学の父ヒポクラテス」酒井シヅ『日本医師会雑誌』135 (1) 90-93
- 「医の歴史 医の守護神」酒井シヅ『日本医師会雑誌』135 (2) 345-348
- 「医の歴史 健康と病い」酒井シヅ『日本医師会雑誌』135 (3) 645-648
- 「医の歴史 東西の古代世界の病理観」酒井シヅ『日本医師会雑誌』135 (4) 862-866
- 「医の歴史 中世の医学の伝承」酒井シヅ『日本医師会雑誌』135 (5) 1092-1095
- 「医の歴史 近代医学の誕生」酒井シヅ『日本医師会雑誌』135 (6) 1315-1318
- 「医の歴史 東西医学の身体観の違い」酒井シヅ『日本医師会雑誌』135 (7) 1558-1561
- 「医の歴史 近代医学の確立」酒井シヅ『日本医師会雑誌』135 (8) 1782-1785
- 「医の歴史 近代医学の前夜」酒井シヅ『日本医師会雑誌』135 (9) 2014-2017
- 「医療史回り舞台 わが国法医学解剖の源流」篠田達明『整形・災害外科』49 (3) 276
- 「医療史回り舞台 モーツアルトの耳」篠田達明『整形・災害外科』49 (4) 370
- 「医療史回り舞台 トンチー休さんの最期」篠田達明『整形・災害外科』49 (7) 840
- 「医療史回り舞台 森鷗外の歴史小説『高瀬舟』と呼吸器外し事件」篠田達明『整形・災害外科』49 (8) 912
- 「医療史回り舞台 藤原定家の腰痛症と関節痛」

- 篠田達明『整形・災害外科』49(9)1007  
「医療史回り舞台 初志を貫いた女医高橋瑞子」  
篠田達明『整形・災害外科』49(10)1117  
「医療史回り舞台 佐倉順天堂を興した佐藤泰然」  
篠田達明『整形・災害外科』49(11)1320  
「医療史回り舞台 脳病患者の治療場だった京都  
岩倉大雲寺」篠田達明『整形・災害外科』49  
(12)1421  
「西洋医学体制の確立」杉山章子『吉川弘文館日  
本医療史』225-309  
「分子生物学の誕生 奇跡の年1953年」鈴木理  
『細胞工学』(別冊分子生物学の誕生(上))1-177  
「分子生物学の誕生 奇跡の年1953年 生命科学  
の未来とその源流 孤立と独創」鈴木理『細胞  
工学』25(8)964-968  
「移民の医学史への展望—中野卓・中野進共編  
『昭和初期—移民の手紙による生活史—ブラジ  
ルのヨッチャン』(京都:思文閣出版,二〇〇  
六)に思うこと」鈴木晃仁『日本医史学雑誌』  
52(4)631-636  
「地域の輪の中で今昔 江戸時代の医療って?」関  
徳子『緩和ケア』16(1)72-73  
「シンポジウム「個人情報保護と医学史研究」一,  
個人情報保護と学会史編集」瀧澤利行『日本医  
史学雑誌』52(3)443-450  
「日本の心身医学を振り返って その歴史と思っ  
た出を語る」中川哲也『心身医学』46(4)281-291  
「医者と患者さん」中野進『医譚』(101)22-30  
「備忘録から その三 研究者淘汰の時代に思っ  
たこと」中山宏明『ミクروسコピア』23(2)125-127  
「備忘録から その四 長蛇を逸すヘリコバク  
ター・ピロリ発見余話」中山宏明『ミクروسコ  
ピア』23(3)207-209  
「備忘録から その五 追憶の遺伝学者大久保舜  
三さんとの交わり」中山宏明『ミクロスコピア』  
23(4)281-284  
「青い血のカルテ Y染色体とチンギス・ハーン  
の子孫」早川智『産科と婦人科』73(4)532-535  
「法蘭院病中日記」と島田筑波(抄)深瀬泰旦  
『日本医史学雑誌』52(1)112-113  
「江戸東京医史学散歩」の足跡(抄)堀江幸司  
『医学情報サービス研究大会抄録集』(23回)18  
「健康をめぐる歴史パノラマ 古代ギリシャの自  
然哲学者たち」真壁伍郎『総合看護』41(1)  
51-63  
「健康をめぐる歴史パノラマ 古代ギリシャの自  
然哲学から」真壁伍郎『総合看護』41(2)55-64  
「健康をめぐる歴史パノラマ アスクレピオス」  
真壁伍郎『総合看護』41(3)33-45  
「健康をめぐる歴史パノラマ ギリシャ医術」真  
壁伍郎『総合看護』41(4)49-60  
「文禄の役(壬辰の乱)における日本・朝鮮・明  
医学の交わり(抄)」松岡尚則,孟原模,村崎  
徹『日本東洋医学雑誌』57(別冊)189  
「文禄の役(壬辰の乱)における日本,朝鮮,明  
医学の交わり」松岡尚則,山下幸一,村崎徹『日  
本医史学雑誌』52(2)273-292  
「医師像を考える 市民の立場から医師像を考え  
る 古都からの〈医の知〉カラフロと北山十  
八間戸」三木健二『日本臨床内科医会誌』20  
(5)553-557  
「シンポジウム「個人情報保護と医学史研究」一,  
個人情報保護法と個人史研究」森田明『日本医  
史学雑誌』52(3)435-442  
「C.W.フーフランドの長生法と日本の養生書の  
沿革(抄)」山田英雄『日本医史学雑誌』52(1)  
118-119
- ## 07 医の倫理
- 「人権と医師—過去・現在・未来—」井上英夫  
『月刊保団連』(920)4-9  
「【医師と患者】医療の移り変わりからみた医師と  
患者の関係」波平恵美子『日本医師会雑誌』  
135(7)1498-1501  
「【医師と患者】インフォームドコンセント」森岡  
恭彦『日本医師会雑誌』135(7)1511-1514
- ## 08 医療器械
- 「シリコンバレー流産学協同 PCIデバイス開発  
の歴史(前編)」池野文昭『Coronary Interven-  
tion』2(6)119-125  
「大腸内視鏡の開発と進歩」海谷晴彦『日本大腸  
検査学会雑誌』22(2)114-121  
「【拡大視処置・手術】目で見える手術用顕微鏡の変

- 遷」加我君孝『JOHNS』22(5) 651-656
- 「【プライマリ・ケア医のための上部・下部消化器内視鏡術】内視鏡の歴史」神保勝一『治療』88(1) 6-12
- 「【車いす】車いすの歴史と展望」高橋義信『POアカデミージャーナル』14(2) 72-78
- 「【拡大視処置・手術】顕微鏡の歴史」瀧本勲，稲福繁『JOHNS』22(5) 645-649
- 「【プラス30秒 色素法の活用】色素内視鏡史の一断片を語る」竹本忠良『消化器内視鏡』18(12) 1800-1803
- 「【今できる小腸疾患へのアプローチ】小腸内視鏡 その歩み」田中三千雄，薄田勝男，折原正周『消化器内視鏡』18(11) 1669-1675
- 「脊椎内視鏡下低侵襲手術の歴史」出沢明『日本脊椎脊髄病学会雑誌』17(2) 757-761
- 「血圧測定計の歴史 定量的血圧測定以前の歴史」朽久保修『血圧』13(7) 789-793
- 「血圧測定計の歴史 血圧測定の幕開け」朽久保修『血圧』13(9) 1005-1011
- 「血圧測定計の歴史 聴診法の完成 Riva-Rocciの上腕カフ法とKorotkoffの聴診法の意義」朽久保修『血圧』13(11) 1265-1271
- 「消化管内視鏡の発展を迎る その十八 大腸カメラ」丹羽寛文『ミクروسコピア』23(1) 36-39
- 「消化管内視鏡の発展を迎る その十九 大腸ファイバースコープ」丹羽寛文『ミクロスコピア』23(2) 128-132
- 「消化管内視鏡の発展を迎る その二十 電子コープとカプセル内視鏡」丹羽寛文『ミクロスコピア』23(3) 221-226
- 「消化管内視鏡の発展を迎る その二十一 見る，視る，観る，診る，看る」丹羽寛文『ミクロスコピア』23(4) 296-300
- 「内視鏡的治療の揺籃期 初期の試みからポリベクトミーまで」丹羽寛文『臨床消化器内科』21(10) 1439-1446
- 「関節鏡の歴史 (History of arthroscopy) (英語) (抄)」Fukui Naoshi『Journal of Orthopaedic Science』11(5) 553
- 「レーヴェンフックの顕微鏡」宮尾行雄『岡山赤十字病院医学雑誌』17, 3-8
- 「関節鏡の歴史と発展 (抄)」守屋秀繁『日本整形外科学会雑誌』80(3) S176
- 「【スポーツ損傷に対する関節鏡手術実践ガイド】スポーツ損傷に対する関節鏡の基礎 関節鏡の歴史」守屋秀繁，佐粧孝久『臨床スポーツ医学』23(臨増) 2-6
- 09 医療制度史・医療史**
- 「社会精神医学の世界的連合 歴史的概観と未来の展望 (英語) The World Association for Social Psychiatry: Historical Overview and View toward the Future」Carleton John L., Sakuta Tsutomu『International Medical Journal』13(2) 105-112
- 「性差医療 性差医療とは 性差医療の歴史，目的，重要性・意義」天野恵子『産科と婦人科』73(6) 773-781
- 「いかにして医療の質の低下を食い止めるか 身体観の変化における歴史的考察と展望」池田文一『日本医事新報』(4269) 59-63
- 「日本・中国・韓国の子どもの健康と養護教諭 (同類職種) の仕事 日本における養護教諭養成の現状と課題 (抄)」大谷尚子『学校保健研究』47(Suppl.) 53-54
- 「精神障害者通院医療費公費負担制度の40年」岡田靖雄『精神医学史研究』10(2) 132-139
- 「精神障害者通院医療費公費負担制度の四〇年一活動しながらの歴史について一 (抄)」岡田靖雄『日本医史学雑誌』52(1) 94-95
- 「日本福祉の源流を探る 江戸時代北辺の地に展開されたネットワーク」小川昭一郎『総合ケア』16(10) 69-72
- 「児童相談所の歴史と役割 (抄)」小野善郎『日本児童青年精神医学会47回総会抄録集』105
- 「全国各地を廻遊する医者について一 出雲国楯縫郡平田町長崎賢斎の学問・医学修業と医療活動一」梶谷光弘『古代文化研究』(14) 97-106
- 「日本・中国・韓国の子どもの健康と養護教諭 (同類職種) の仕事 日本の学校保健の歴史的経緯と現状課題 (抄)」数見隆生『学校保健研究』47(Suppl.) 50-51
- 「1960年代から70年代初頭の医療供給体制をめぐる議論 「医療基本法案」と「医療保障基本法案」

の廃案の経緯を中心に」河野すみ子『日本医療経済学会会報』(69)64-75

「明治維新の際、日本の医療体制に何がおこったか 西洋医学選択の道のり」吉良枝郎『日本東洋医学雑誌』57(6)757-767

「明治維新の際、日本の医療体制に何がおこったか—西洋医学選択の道のり—(抄)」吉良枝郎『日本東洋医学雑誌』57(別冊)78

「第二次大戦前のアメリカ医療保険制度に関する一考察(上)」朱賢『東京薬科大学研究紀要』(9)9-18

「日本の養護教諭の歩み」杉浦守邦『学校保健研究』47(Suppl.)93-96

「近代日本における新医療導入をめぐる相克と克服」竹原万雄『医療と社会』15(3)37-51

「【越境! 公衆衛生】イギリスにおける公衆衛生体制の再構築 わが国が学ぶべきこと」武村真治『公衆衛生』70(6)428-431

「資料・十九世紀の中国医事衛生年表(一)」寺畑喜朔『医譚』(101)14-21

「作業療法白書2005 協会設立40周年記念誌」日本作業療法士協会『作業療法』25(特別)1-191

「医療法人制度の法制度的側面に関する史的研究」堀籠崇『日本医療経済学会会報』(69)1-36

## 10 衛生・公衆衛生史・予防医学史

「『大日本私立衛生会雑誌』にみる公衆浴場(抄)」川端美季『日本医史学雑誌』52(1)70-71

「近代の公衆衛生と部落問題」小林丈広『京都部落問題研究資料センター通信』(2)

「産業医学いまむかし(36) 作業態様による健康障害」野村茂『労働の科学』61(1)30-31

「産業医学いまむかし(37) メンタルヘルスのこと」野村茂『労働の科学』61(2)94-95

「産業医学いまむかし(38) 産業医のはたらき」野村茂『労働の科学』61(3)156-157

「産業医学いまむかし(39) 歯の糖触症と酸触症」野村茂『労働の科学』61(8)480-481

「産業医学いまむかし(40) 産業看護師の歩み」野村茂『労働の科学』61(9)544-545

「産業医学いまむかし(41) 鉄道運転士の健康」野村茂『労働の科学』61(10)608-609

「産業医学いまむかし(42) 産業衛生技術者の活動」野村茂『労働の科学』61(11)42-43

「結核感染児童の増加と予防対策 都市小児結核予防所設置(1939年)を中心として」三井登『体育学研究』51(5)623-633

「衛生技術官の主張とその背景—『日本公衆保健協会雑誌』の記事を中心に(抄)」横田陽子『日本医史学雑誌』52(1)68-69

「結核予防法成立時の医療行政史の一面」渡部幹夫『日本医師会雑誌』135(6)1341-1347

「近代日本における医療の有効性とリスクの研究 予防医学施策導入時における日本社会の対応について(抄)」渡部幹夫, 鈴木晃仁, 永嶋剛『医療看護研究』2(1)140

## 11 解剖学史

「解體新書の謎 補遺1-3」大城孟『大塚薬報』(614-616)67-70, 47-49, 53-58

「【江戸時代の解剖学】江戸時代に制作された木骨, 特に星野木骨について」片岡勝子, 洲崎悦子, 安嶋紀昭『解剖学雑誌』81(1)7-12

「江戸時代に制作された木骨に関する研究—星野木骨, 各務木骨, 奥田木骨の比較—(抄)」片岡勝子『日本医史学雑誌』52(1)50-51

「ガレノスとヴェサリウスの解剖学の比較研究(四) 一皮静脈を例にとつて(抄)」坂井建雄『日本医史学雑誌』52(1)46-47

「ガレノス『静脈と動脈の解剖について』—ギリシャ語原典からの翻訳と考察」坂井建雄, 池田黎太郎, 澤井直『日本医史学雑誌』52(2)211-272

「Sylviusの解剖学書における分類と名指し(抄)」澤井直『日本医史学雑誌』52(1)44-45

「ガスパール・ボアンにおける筋の名称について」澤井直, 坂井建雄『日本医史学雑誌』52(4)601-630

「【江戸時代の解剖学】江戸の体内想像図『飲食養生鑑』と『房事養生鑑』」白杉悦雄『解剖学雑誌』81(1)19-22

「神経の歴史散策 その六 ヴェサリウスの神経系の解剖学」高垣玄吉郎『ミクロスコピア』23(1)25-31

「神経の歴史散策 その七 コンスタンゾ・ヴァ

- 「ロリオとバルトロメオ・ユースタキオ」高垣玄吉郎『ミクロスコピア』23(2)115-120
- 「神経の歴史散策 その八 トーマス・ウィリスの仲間たち」高垣玄吉郎『ミクロスコピア』23(3)211-216
- 「神経の歴史散策 その九 トーマス・ウィリスの「脳の解剖学」」高垣玄吉郎『ミクロスコピア』23(4)285-290
- 「触覚受容の主役？ それとも脇役？メルケル細胞」立花民子『ミクロスコピア』23(3)185-191
- 「模倣の中の創意—九州大学医学部所蔵人体模型の結紮部位表現（抄）」月澤美代子『日本医史学雑誌』52(1)48-49
- 「江戸時代の解剖学」江戸時代の日本で作られた奥田木骨の形態と制作状況」馬場悠男『解剖学雑誌』81(1)13-18

## 12 眼科史

- 「原著を探る 核間性眼筋麻痺」伊藤義彰，天野隆弘『Clinical Neuroscience』24(5)606-607
- 「論文発表からみた視能矯正学（視能学）の研究史（抄）」大庭紀雄『眼科臨床医報』100(3)202
- 「【小脳と神経眼科】神経眼科における小脳研究の歴史」加瀬学『神経眼科』23(2)199-206
- 「白内障手術よもやま話 白内障手術の歴史」谷原秀信『IOL & RS』20(2)195-197
- 「『医法明鑑』に所載の眼病治療」中泉行弘，林尋子，斎藤仁男『臨床眼科』60(7)1324-1325
- 「『錦囊妙薬秘録』にみる眼疾療法」中泉行弘，林尋子，斎藤仁男『臨床眼科』60(5)858-859
- 「『東医宝鑑』に所載の眼科」中泉行弘，林尋子，斎藤仁男『臨床眼科』60(8)1528-1529
- 「【眼科臨床医報100周年特集】眼科臨床医報100年史」丸尾敏夫『眼科臨床医報』100(11)894-901
- 「視能学の黎明 視能学の50年（抄）」丸尾敏夫『日本視能矯正学会47回プログラム抄録集』33
- 「シーボルト記念館所蔵の眼科手術器具について—伊東昇廸がシーボルトンから贈られた眼科内障機器—」山之内外一『鳴滝紀要』(16)1-7
- 「神経眼科学の成立と発展」若倉雅登『日本の眼科』77(9)1087-1092

## 13 看護史

- 「アメリカで看護を実践してきた住吉蝶子が伝えたい看護」大石杉乃『看護教育』47(11)1012-1019
- 「看護の歴史 創る 学ぶ 探る 伝える 金子光先生から学んだ“歴史”」大石杉乃『看護教育』47(2)172-173
- 「プランゲ文庫の分析より明らかになった日本看護協会機関誌『看護』の発刊事情」大石杉乃，喜多加奈子，平尾真智子，芳賀佐和子『日本看護歴史学会誌』(19)18-23
- 「雑誌『保健婦事業』の実態（2）メリーランド大学プランゲ文庫調査から（抄）」大石杉乃，平尾真智子，芳賀佐和子『日本看護科学学会学術集会26回講演集』129
- 「占領期の医療・看護に関する出版物の検閲（二）—九州で発行された保健婦の雑誌—（抄）」大石杉乃，喜多加奈子，平尾真智子，芳賀佐和子『日本医史学雑誌』52(1)54-55
- 「明治期から昭和初期の産婆教科書にみる産婦への内診（抄）」緒方京，高橋弘子『日本助産学会誌』19(3)258-259
- 「昭和戦前期の助産活動 産婆の聞き取り調査より（抄）」小川景子，江幡芳枝『日本助産学会誌』19(3)262-263
- 「明治期の一避病院における看護管理の状況（抄）」上坂良子，水田真由美『日本医史学雑誌』52(1)60-61
- 「看護技術教科書にみる『安楽』の導入時期と内容（第1報）—保助看法成立以降昭和42年カリキュラム改正まで—（抄）」近藤誓子，小川景子，須藤絹子『日本看護歴史学会第20回学術集会講演集』88-89
- 「明治期の精神病院に於ける看護婦養成について—府立巢鴨病院の実態から—（抄）」澤田恵子『神奈川医学会雑誌』33(1)77
- 「大正時代都市政策として導入された大阪市学校看護婦事業（抄）」杉浦守邦『日本医史学雑誌』52(1)56-57
- 「【看護の歴史はおもしろい 語り継がれる人と時代】私の歴史研究 器物・文献資料総合データベースとフランス製人体解剖模型」月澤美代子

『看護教育』47(11)984-991

「京都岩倉において精神病患者家族的看護を可能にしたもの一大岩、阿波井との比較において(抄)」中村治『日本医史学雑誌』52(1)90-91

「保良せきが戦前期に刊行した看護専門雑誌『看護婦』の内容とその意義(抄)」平尾真智子, 芳賀佐和子『第26回日本看護科学学会学術集会講演集』128

「京都府における保健師養成・教育の系譜」福本恵『京都府立医科大学看護学科紀要』15, 15-21

「三重県鈴鹿市における助産所の歴史 明治生まれの一助産師の軌跡をとらえて(抄)」山名香奈美『日本助産学会誌』19(3)260-261

#### 14 寄生虫学史

「土壌感染蠕虫症の制御に関する歴史的考察(英語)(Historical aspects for the control of soil-transmitted helminthiasis)」Kobayashi Akio, Hara Takaaki, Kajima Junko『Parasitology International』55(Suppl.) S289-S291

「囊虫症と包虫症に対するワクチン Taeniid cestode 免疫学における基礎(英語)(Vaccines against cysticercosis and hydatidosis: Foundations in taeniid cestode immunology)」Lightowlers Marshall W.『Parasitology International』55(Suppl.) S39-S43

「日本住血吸虫病(片山病)の終息と広島県の取り組み 白馬・吹雪号の昭和天皇と片山病」橋本秀夫『日本獣医師会雑誌』59(2)98-101

#### 15 教室・大学史

「終戦直後の京都における職業病対策と京都大学医学部公衆衛生学教室の研究成果(抄)」乾修然『産業衛生学雑誌』48(2)69

「名古屋大学医学部附属病院薬剤部の歴史(抄)」小倉庸蔵, 鍋島俊隆『薬史学雑誌』41(2)102

「医者も知りたい医者のはなし 東京医学校ものがたり(その1)-(その2)」木村専太郎『臨床整形外科』41(9, 11)976-978, 1166-1168

「岡山医学校で教職に就いた金沢医学校卒業生(抄)」寺畑喜朔『医譚』(101)78-79

「明治期における医学図書館の設立(抄)」寺畑喜朔『日本医史学雑誌』52(1)74-75

「日本医科大学の前身済生学舎が突然廃校になった真実の経緯—東京帝国大学教授陣の圧力(抄)」殿崎正明, 唐沢信安, 岩崎一『日本医史学雑誌』52(1)76-77

「医学史 東京医学専門学校開校をめぐる群像」友田あき夫『東京医科大学雑誌』64(3)229-241  
 「名城大学薬学専攻科の創設と変遷—薬学教育が変われば薬剤師職能が変わる—(抄)」半谷眞七子, 松葉和久『薬史学雑誌』41(2)104

「大正期の大阪府立医科大学と大阪府会の動向をめぐる(抄)」松田武『医学史研究2004-2005』(86)31-32

「東洋女子歯科医学専門学校について(抄)」山口秀紀, 渋谷鉦, 渋谷幸男, 谷津三雄『日本歯科医史学会々誌』26(4)204-205

#### 16 軍陣医学史

「十五年戦争中の軍陣での『生体解剖』の実態」蒔昭三『北陸医史』27(1)41-64

「陸軍軍医学校防疫研究報告II部一(その一)—その概略について(抄)」蒔昭三『日本医史学雑誌』52(1)64-65

「陸軍々医学舎長緒方惟準講述の「陸軍医務沿革史」」中山沃『日本医史学雑誌』53(1)26-27

「陸軍衛生制度史にみる薬剤官について(抄)」堀口紀博『薬史学雑誌』41(2)103

「『医師・医学者の戦争責任を考える—関東軍七三一部隊をめぐる—』—現代の医療過誤及び先端医学との関連で—」山口研一郎『月刊保団連』(920)27-38

#### 18 外科史

「【乳癌 診断・治療の最前線】手術 乳癌手術の変遷」安達洋佑『外科』68(8)900-907

「【手術—ここ30年の変化】乳癌の手術」甘利正和, 石田孝宣, 大内憲明『手術』60(10)1419-1424

「【手術—ここ30年の変化】甲状腺良性疾患の手術」五十嵐健人, 清水一雄『手術』60(10)1413-1417

「明治期におけるHalsted手術の導入とその後」泉勝雄『乳癌の臨床』21(3)279-283



- 「手術—ここ30年の変化」食道良性疾患の手術  
今本治彦，安田卓司，塩崎均『手術』60(10)  
1433-1439
- 「手術—ここ30年の変化」副腎疾患の手術 鏡  
視下手術による変革」岩瀬弘敬，山本豊，川添  
輝，山下啓子，遠山竜也，伊藤由加志『手術』  
60(10)1583-1588
- 「手術—ここ30年の変化」肛門疾患の手術」岩  
垂純一『手術』60(10)1487-1498
- 「手術—ここ30年の変化」肝原発悪性腫瘍の手  
術」江口晋，兼松隆之『手術』60(10)1501-  
1507
- 「手術—ここ30年の変化」胆道先天異常の手術」  
甲斐真弘，千々岩一男，大内田次郎，旭吉雅秀，  
永野元章，今村直哉『手術』60(10)1553-1558
- 「手術—ここ30年の変化」私から見た「食道癌  
手術の30年」掛川暉夫『手術』60(10)1440-  
1441
- 「手術—ここ30年の変化」胃間葉系腫瘍の手術」  
掛地吉弘，古賀聡，太田光彦，本坊拓也，森田  
勝，前原喜彦『手術』60(10)1451-1458
- 「スポーツによる膝前十字靭帯（Anterior cruciate  
ligament: ACL）損傷と再建の歴史」嘉手川啓  
『沖縄県医師会報』(453)45-47
- 「手術—ここ30年の変化」転移性肝腫瘍の手術」  
川瀬義久，竹田伸，中尾昭公『手術』60(10)  
1509-1515
- 「Metabolic Surgeryとしての肥満外科手術の歴史と  
現状」川村功，落合武徳『日本外科学会雑誌』  
107(6)305-311
- 「外科学温故知新 ガイドライン」國枝克行『臨  
床外科』61(10)1367-1372
- 「短腸症候群の治療をめぐる」短腸症候群治療  
の歴史的流れ」窪田昭男『小児外科』38(9)  
1017-1019
- 「外科学温故知新 食道外科」桑野博行，福地稔，  
加藤広行『臨床外科』61(13)1637-1640
- 「手術—ここ30年の変化」肝門部胆管癌の手術」  
近藤哲『手術』60(10)1547-1551
- 「手術—ここ30年の変化」脾・門脈系疾患の手  
術」坂口孝宣，中村達，鈴木昌八『手術』60(10)  
1577-1582
- 「手術—ここ30年の変化」胃癌手術ここ30年  
の変遷」笹子三津留，佐野武，片井均，深川剛生，  
阪眞，井上昌也『手術』60(10)1443-1450
- 「外科学温故知新 感染対策」貞廣莊太郎『臨床  
外科』61(4)483-488
- 「外科学温故知新」によせて Antisepsis（防腐  
法）から Asepsis（滅菌，無菌）へ」佐藤裕『臨  
床外科』61(7)955-958
- 「外科学温故知新」によせて 創傷管理 デブ  
リードマン（Debridement）とは」佐藤裕『臨床  
外科』61(9)1250-1251
- 「外科学温故知新」によせて 腸管吻合法の歴史  
的変遷」佐藤裕『臨床外科』61(13)1651-1656
- 「外科学温故知新 癌化学療法 化学療法（chemo-  
therapy）の開拓者 Paul Ehrlich と Gerhard Domagk」  
佐藤裕『臨床外科』61(10)1376-1377
- 「手術—ここ30年の変化」胆嚢良性疾患の手術」  
柴田浩平，石尾哲也，太田正之，北野正剛『手術』  
60(10)1539-1545
- 「外科学温故知新 人工臓器」末田泰二郎『臨床  
外科』61(1)53-58
- 「外科学温故知新 輸液栄養の今昔」標葉隆三郎  
『臨床外科』61(3)333-338
- 「手術—ここ30年の変化」生体肝移植のレンビ  
ェント血行再建術」菅原寧彦，幕内雅敏『手術』  
60(10)1523-1531
- 「手術—ここ30年の変化」脾良性疾患の手術」  
杉山政則，岡部展次，森俊幸，跡見裕『手術』  
60(10)1567-1572
- 「手術—ここ30年の変化」大腸原発性便秘症の  
手術」高尾良彦，諏訪勝仁，藤田明彦，穴澤貞  
夫『手術』60(10)1481-1486
- 「原著を探る 関連痛」高橋昭『Clinical Neuro-  
science』24(4)482-484
- 「胃癌外科におけるリンパ節郭清の始まりとその  
展開 概観」高橋孝『臨床外科』61(3)343-348
- 「胃癌外科におけるリンパ節郭清の始まりとその  
展開 Billroth 1881年まで」高橋孝『臨床外科』  
61(4)491-496
- 「胃癌外科におけるリンパ節郭清の始まりとその  
展開 Billroth 1881年まで(2)」高橋孝『臨床  
外科』61(5)659-668

- 「胃癌外科におけるリンパ節郭清の始まりとその展開 Billroth 1881年とその後」高橋孝『臨床外科』61(6) 811-819
- 「胃癌外科におけるリンパ節郭清の始まりとその展開 Billroth — 1881年—から Mikulicz — 1898年—まで (1-2)」高橋孝『臨床外科』61(7-8) 965-973, 1101-1111
- 「胃癌外科におけるリンパ節郭清の始まりとその展開 Mikuliczの胃癌外科とその時代 理論の始まり」高橋孝『臨床外科』61(9) 1253-1258
- 「胃癌外科におけるリンパ節郭清の始まりとその展開 Mikuliczの胃癌外科とその時代 理論から実践へ」高橋孝『臨床外科』61(10) 1379-1388
- 「胃癌外科におけるリンパ節郭清の始まりとその展開 Mikuliczの胃癌外科とその時代 実践での展開」高橋孝『臨床外科』61(12) 1521-1528
- 「胃癌外科におけるリンパ節郭清の始まりとその展開 1910年前後からの実践 本道と逸脱 Jamieson, Dobsonのリンパ流とGrovesの大網切除」高橋孝『臨床外科』61(13) 1659-1668
- 「手術—ここ30年の変化」肝胆膵の手術の30年を振り返って」土屋涼一『手術』60(10) 1573-1575
- 「手術—ここ30年の変化」食道癌の手術」鶴丸昌彦『手術』60(10) 1425-1431
- 「手術—ここ30年の変化」膵悪性腫瘍の手術」永井秀雄, 佐田尚宏, 小泉大『手術』60(10) 1559-1565
- 「手術—ここ30年の変化」胃・十二指腸潰瘍の手術」生越喬二『手術』60(10) 1459-1466
- 「手術—ここ30年の変化」甲状腺乳頭癌の手術の変遷」野口志郎『手術』60(10) 1407-1411
- 「手術—ここ30年の変化」肝内結石症治療の変遷」袴田健一, 吉原秀一, 佐々木睦男『手術』60(10) 1516-1522
- 「てんかん外科の温故創新 脳梁離断術の歴史と手術適応 (抄)」馬場啓至『脳神経外科ジャーナル』15(4) 319
- 「手術—ここ30年の変化」大腸癌の手術」前田耕太郎, 花井恒一, 佐藤美信, 升森宏次, 小出欽和, 丸田守人『手術』60(10) 1469-1474
- 「手術—ここ30年の変化」鼠径ヘルニアの手術」

松本純夫『手術』60(10) 1589-1595

- 「日本の外科の夜明け 特にドイツ外科学会に関連して (The Dawn of Surgery in Japan, with Special Reference to the German Society for Surgery) (英語)」Mishima Yoshio『Surgery Today』36(5) 395-402
- 「手術—ここ30年の変化」胆嚢癌の手術」宮崎耕治『手術』60(10) 1533-1538
- 「手術—ここ30年の変化」大腸の手術—ここ30年を振り返って」武藤徹一郎『手術』60(10) 1499-1500
- 「手術—ここ30年の変化」潰瘍性大腸炎の手術の変遷」飯合恒夫, 畠山勝義『手術』60(10) 1475-1480
- 「脳神経外科手術手技に関する私見とその歴史的背景 EC-IC bypass」米川泰弘『Neurological Surgery』34(8) 859-867
- 「脳神経外科手術手技に関する私見とその歴史的背景 聴神経腫瘍」米川泰弘『Neurological Surgery』34(12) 1265-1280

## 20 産婦人科史

- 「胎児監視装置の歴史 (英語) (The History of Electronic Fetal Monitoring)」Quilligan Edward『日本周産期・新生児医学会雑誌』42(2) 196
- 「電氣的胎児モニタリングの歴史 (英語) (The History of Electronic Fetal Monitoring) (抄)」Quilligan Edward『日本周産期・新生児医学会雑誌』42(4) 716-717
- 「助産婦の歴史 近代の助産婦 (その239-250)」石原力『ペリネイタルケア』25(1-12) 87-89, 177-179, 304-305, 376-377, 470-471, 620-621, 718-719, 819-821, 890-891, 1004-1006, 1125-1127, 1234-1236
- 「竹と「臍の緒」「民間薬」「担架」渡山恵子『鹿児島民具』(18)
- 「【ARTのロマンとその夢の達成】体外受精学外史」森崇英『産婦人科の世界』58(6) 495-502

## 21 歯学史

- 「江戸時代の歯痛祈願と治療」大野肅英『日本歯科評論』(763) 190-191

- 「近代西洋歯科の導入とイーストレーキ」大野肅英『日本歯科評論』(764) 190-191
- 「日本の木の入れ歯（下）」大野肅英『日本歯科評論』(760) 190-191
- 「日本の抜歯の歴史（上）（下）」大野肅英『日本歯科評論』(761-762) 182-183, 190-191
- 「歯科医師の死因の推移—一般国民の死因と比較して—」加來洋子，石橋肇，渋谷鉦『日本歯科医史学会々誌』26(3) 210-213
- 「血脇守之助「次回国際歯科医学会議を日本に開催せんとする希望に対する意見書」（昭和6年2月）について」加來洋子，山口秀紀，石橋肇，渋谷鉦，谷津三雄『日本歯科医史学会々誌』26(4) 272-275
- 「歯科用CTの発達とその臨床」河村達也『大阪府歯科医師会雑誌』(673) 10-13
- 「歯科界の潮流 生命と歯科医学Ⅱ 歯科における『全身管理』小史」東理十三雄『歯学』94(秋季特集) 21-24
- 「佐藤運雄著「歯科病理学」について—初版と5版との比較—」工藤逸郎，三宅正彦，見崎徹，金山利吉，西山實，若松佳子，小室歳信，佐藤孜，納村晉吉，篠田宏司，太田肇『日本歯科医史学会々誌』26(3) 185-198
- 「創設者入戸野賢二先生に引き続き千葉大学医学部歯科口腔外科並びに日本大学歯学部口腔外科の発展に盡力された佐藤伊吉先生とその業績について（抄）」工藤逸郎，三宅正彦，見崎徹，金山利吉，西山實，若松佳子，小室歳信，佐藤孜，納村晉吉，篠田宏司，丹沢秀樹『日本歯科医史学会々誌』26(4) 198-199
- 「日本における無医村問題の緩和対策—台湾出身歯科医師の役割—（抄）」小島武彦，小島時昭『日本歯科医史学会々誌』26(4) 232
- 「私の歯科ジャーナル遍歴」榊原悠紀田郎『日本歯科評論』(765) 165-168
- 「100年の歴史 歯科放射線学の100年」佐藤健児『日本歯科大学校友会・歯学会会報』31(3) 2-6
- 「19世紀初頭にまで遡ると考えられる梅之丞の入歯・口中治療に関する推論—明治21年佐藤太郎吉の新聞広告から—」佐藤泰彦『日本歯科医史学会々誌』26(4) 262-271
- 「松籟・石塚三郎先生遺稿の漢詩～月刊「自治」に投稿した詩文～」佐藤泰彦，佐藤禮『日本歯科医史学会々誌』26(4) 235-242
- 「唾液と眼の病について（抄）」佐藤恭道，戸出一郎『日本歯科医史学会々誌』26(4) 217
- 「近代歯冠修復治療はどこから来たのか セラメタルレストレーションの誕生とともに確立した近代歯冠修復治療の基礎」茂野啓示，桑田正博『歯界展望』108(2) 253-268
- 「大幅な改訂を迫られた桜歯ニュース第13号（昭和44年6月20日発刊）（抄）」渋谷鉦，加來洋子，大竹繁雄，牧村正治，谷津三雄『日本歯科医史学会々誌』26(4) 233-234
- 「明治時代初期の有喜世新聞広告について（抄）」下総高次『日本歯科医史学会々誌』26(4) 221-222
- 「100年の歴史 歯科放射線学の現状と将来」代居敬，河合泰輔『日本歯科大学校友会・歯学会会報』31(3) 7-11
- 「W.C イーストレーキの墓所の発見（抄）」新藤恵久『日本歯科医史学会々誌』26(4) 211
- 「F.W イーストレーキの業績（抄）」新藤恵久『日本歯科医史学会々誌』26(4) 212
- 「口腔領域疾患の病理組織検査 125例の臨床的観察—17年間の病院勤務と37年間の歯科開業をふまえて病診連携を考える—」杉本是孝，中山孝子，宮崎佐喜子『日本歯科医史学会々誌』26(3) 155-165
- 「東北大学歯学部創立の前史—共立病院歯科から大学付属病院歯科まで—」杉本是孝，中山孝子，宮崎佐喜子『日本歯科医史学会々誌』26(4) 243-248
- 「日本の口腔外科発展の足跡と歯学の将来展望（抄）」瀬戸かん一『神奈川歯学』41(抄録集) 3
- 「口からよむ百鬼夜行絵巻」竹原直道『日本歯科医史学会々誌』26(3) 166-180
- 「東洋医学臨床治療における陰陽虚実（抄）」戸出一郎，三浦一恵，山崎ひろ子，深山治久『日本歯科医史学会々誌』26(4) 227-228
- 「咬合平面の歴史（抄）」永田和弘『日本歯科医史学会々誌』26(4) 209-210
- 『「口歯類要」にみられる口瘡治験例の一考察

- (抄) 西卷明彦, 陶粟嫻, 屋代正幸『日本歯科医史学会々誌』26(4)224
- 「鷗外と歯科医史(1) 陸軍一等軍医 森林太郎の「齲歯予防論」(抄)」樋口輝雄『日本歯科医史学会々誌』26(4)218
- 「鷗外と歯科医史(2) 森林太郎の勉学ノート「語彙材料」に見られる歯科記述(抄)」樋口輝雄『日本歯科医史学会々誌』26(4)219-220
- 「S. S. White Dental Manufacturing Companyの歯科医学特に歯科補綴への貢献について(抄)」平田幹男『日本歯科医史学会々誌』26(4)207-208
- 「八百枝康三と「保歯の栞」(抄)」広瀬秀『日本歯科医史学会々誌』26(4)202
- 「矯正歯科の黎明期」福原達郎『日本臨床矯正歯科医会雑誌』18(1)44-53
- 「矯正歯科の黎明期 Back to the Future Orthodontics(抄)」福原達郎『日本臨床矯正歯科医会雑誌』18(1)58-59
- 「歯の人類学 日本人の齲蝕の歴史の変遷」藤田尚『老年歯科医学』20(4)376-379
- 「これからの歯科衛生士を考える 歯科衛生士57年の歴史に学ぶ(抄)」本間和代『明倫歯科保健技工学雑誌』9(1)118
- 「Philadelphia Dental Collegeの卒業証書について(抄)」松本晋一『日本歯科医史学会々誌』26(4)206
- 「歴史を楽しむ 世界の歯科の教育機関 世界における医学校ができるまで」森昌彦『歯科医療』20(2)67-71
- 「アメリカ歯科医史学会50年の歴史(その1)」森山徳長『日本歯科医史学会々誌』26(3)199-204
- 「アメリカ歯科医史学会誌50年の歴史(その1) 一初期の試行より季刊誌へ」森山徳長『日本歯科医史学会々誌』26(3)205-209
- 「アメリカ歯科医史学会誌50年の歴史(その2) 一第3代編集長Dr. Malvin E. Ringの時代一」森山徳長『日本歯科医史学会々誌』26(4)258-261
- 「奥村鶴吉の齲蝕細菌学的研究業績の研究(抄)」森山徳長『日本歯科医史学会々誌』26(4)200-201
- 「村村克巳著『歯乃養生法』の原資料の疑義についての研究」森山徳長『日本歯科医史学会々誌』26(3)181-184

## 22 史跡・記念碑

- 「先哲医家の墓めぐり会」小曾戸洋『漢方と鍼』30(4)2-3
- 「鬼平梅安にしひがし 上野の寛永寺」中西淳朗『月刊保団連』(903)52-53
- 「鬼平梅安にしひがし 江戸の薬屋」中西淳朗『月刊保団連』(920)54-55
- 「鬼平梅安にしひがし 谷中の天王寺」中西淳朗『月刊保団連』(908)62-63

## 23 疾病史

- 「筋ジストロフィに関する研究の歴史的考察(Historical review on the researches on muscular dystrophies)(英語)(抄)」Fardeau Michel『臨床神経学』46(11)814
- 「【アルツハイマー病研究の最前線】日本のアルツハイマー病研究 歴史と将来像」井原康夫『最新医学』61(12)2449-2453
- 「【アルツハイマー病研究の最前線】アルツハイマー病研究の過去・現在・未来」岩坪威『最新医学』61(12)2355-2359
- 「Von Dem Grau Bis Zum Bunt ベリベリ物語 惟準とボードウィンとハラタマ」上野賢一『皮膚科の臨床』48(9)1151-1153
- 「Von Dem Grau Bis Zum Bunt ベリベリ物語 堀内利国の先見的脚気対策」上野賢一『皮膚科の臨床』48(11)1553-1554
- 「Von Dem Grau Bis Zum Bunt ベリベリ物語 海軍と陸軍の論争」上野賢一『皮膚科の臨床』48(12)1665-1667
- 「Von Dem Grau Bis Zum Bunt ベリベリ物語 森林太郎の登場」上野賢一『皮膚科の臨床』48(13)1789-1791
- 「めまい平衡医学の歴史 過去・現在・未来(抄)」加我君孝『Equilibrium Research』65(5)379
- 「【インフルエンザ 診療のすべてと新型インフルエンザ対策】スペインインフルエンザの恐怖再び?」加地正郎『臨床と研究』83(12)1765-1769
- 「インフルエンザ かぜ疾患群からの独立」加地

- 正郎『インフルエンザ』7(4)316-324
- 「満州開拓団の「屯墾病」について」金川英雄『精神医学研究所業績集』(42)137-140
- 「マラリア その歴史と現状」加辺純雄『防衛衛生』53(7別冊)1-8
- 「神崎病の発見・確立とその後の展開 1986～2006」神崎保『西日本皮膚科』68(1)51-58
- 「結核で亡くなった文豪 結核と文学 日本文学と結核(1)-(2)」喜多村悦史『予防医学ジャーナル』(418,420)28-30,30-32
- 「糖尿病の歴史 Westと糖尿病の疫学」葛谷健『Q&Aでわかる肥満と糖尿病』5(1)168-172
- 「糖尿病の歴史 エネルギー源としての血中脂肪酸」葛谷健『Q&Aでわかる肥満と糖尿病』5(2)344-347
- 「糖尿病の歴史 プロインスリンの発見 その前夜」葛谷健『Q&Aでわかる肥満と糖尿病』5(3)517-519
- 「糖尿病の歴史 プロインスリンの発見 Steinerの実験」葛谷健『Q&Aでわかる肥満と糖尿病』5(4)653-657
- 「糖尿病の歴史 やせ形糖尿病とLancereaux」葛谷健『Q&Aでわかる肥満と糖尿病』5(5)815-817
- 「糖尿病の歴史 糖尿病の隣病変 Opieと隣島の「ヒアリン変性」」葛谷健『Q&Aでわかる肥満と糖尿病』5(6)990-993
- 「アルツハイマー病100年の回顧とこれからの課題 アルツハイマー病の神経化学分野での研究の歴史と今後の展望(抄)」工藤喬『老年精神医学雑誌』17(増刊1)76
- 「マールブルクウイルス病のその後」河野宏『ミクロスコピア』23(4)292-295
- 「Brugada症候群の歴史・診断・臨床的意義・治療について(抄)」寒川睦子，中津高明，豊永慎二，間島圭一，草地省蔵，渡辺敦之，伴場圭一，西井伸洋，永瀬聡，中村一文，櫻木悟，草野研吾，大江透『日本自律神経学会総会59回プログラム・抄録集』100
- 「アレルギー研究の歴史(4)」信太隆夫『喘息』19(4)77-81
- 「結核の今昔 日本の近代化とともに結核が増加，主な被害者は若い女性」島尾忠男『日本胸部臨床』65(1)56-68
- 「原著を探る 瀬川病」瀬川昌也『Clinical Neuroscience』24(1)114-115
- 「ガス中毒」竹田眞『北辰』(7)25-28
- 「【消化管の“前癌病変”】前癌病変とは何か その歴史的背景」竹本忠良，藤野雅之『消化器内視鏡』18(4)401-407
- 「自律神経失調症の歴史的展望(抄)」田村直俊，山元敏正，中里良彦，糸川かおり，島津邦男『日本自律神経学会総会59回プログラム・抄録集』188
- 「【肩こりと鍼灸治療】文化としての肩こり その史的展開」東郷俊宏『医道の日本』65(2)44-49
- 「【インフルエンザ 基礎・臨床研究の最新動向】インフルエンザウイルス研究の歴史的変遷と展望」中島捷久『日本臨床』64(10)1774-1780
- 「よろけと紫金錠(抄)」中西淳朗『神奈川医学会雑誌』33(2)246
- 「【ヘルペスウイルス学 基礎・臨床研究の進歩】ヘルペスウイルス研究の歴史」西山幸廣『日本臨床』64(増刊3)7-12
- 「水俣病の歴史と現在 世紀後半に入って(The History and the Present of Minamata Disease: Entering the second half a century)(英語)」Hachiya Noriyuki『Japan Medical Association Journal』49(3)112-118
- 「錦小路家本『異本病草紙』について フィラリア症」服部瑛『Visual Dermatology』5(2)188-190
- 「【プリオン】プリオンとプリオン病 その定義，研究の歴史，分類と疫学」日詰正樹，水澤英洋『Brain Medical』18(4)309-314
- 「【先天代謝異常症 日常診療で必須の知識】先天代謝異常症の概念の歴史」深瀬泰旦『小児科診療』69(11)1561-1567
- 「未病からみた動脈硬化 その歴史からの展望と社会的意義」福生吉裕『日本未病システム学会雑誌』11(2)237-241
- 「原典・古典の紹介 Horner症候群」古川哲雄『神経内科』64(6)636-643
- 「脚氣病原因の研究史 ビタミン欠乏症が発見，認定されるまで」松田誠『東京慈恵会医科大学

雑誌』121(3)141-157

- 「【人獣共通感染症としてのインフルエンザ パンデミックへの対応】インフルエンザの流行と予防 インフルエンザの流行史と新型インフルエンザウイルス出現機構」松本慶蔵『カレントセラピー』24(12)1035-1040
- 「アレルギー疾患の歴史 気管支喘息の歴史 概念の変遷 古代より19世紀前半まで」眞野健次『アレルギー・免疫』13(11)1600-1605
- 「アレルギー疾患の歴史 気管支喘息の歴史 概念の変遷 19世紀半ばより現代の入り口まで」眞野健次『アレルギー・免疫』13(12)1745-1757
- 「【アルツハイマー病研究の最前線】認知症の病理概念の変遷」村山繁雄, 齊藤祐子『最新医学』61(12)2374-2378
- 「アルツハイマー病100年の回顧とこれからの課題 神経病理の100年(抄)」山口晴保『老年精神医学雑誌』17(増刊1)75
- 「アルペルギルス症今昔(1)-(2)」山口英世『深在性真菌症』2(1-2)69, 46

## 24 耳鼻咽喉科史

- 「古典あれこれ『Noses』の紹介」飯沼壽孝『JOHNS』22(9)1368-1370
- 「古典あれこれ Nasology」飯沼壽孝『JOHNS』22(2)236-238

## 25 種痘史

- 「うゑほうそう譚 其の一~五(終回)」上野賢一『大塚薬報』(615-619)66-69, 70-72, 66-68, 64-66, 68-70
- 「大坂の除痘館」分苗所調査報告(1-2)古西義磨『適塾』(38-39)1-20, 1-29
- 「大坂平野除痘館について(抄)」古西義磨『医譚』(101)76-77
- 「牛痘種痘の拡がり」田崎哲郎『日本歴史』(695)36-39
- 「『種痘の祖緒方春朔』を上梓して」富田英壽『甘木朝倉医師会雑誌『医艸』(17)

## 26 獣医学史

- 「「生類憐みの令」と「動物の愛護及び管理に関する法律」池澤聖明『日本獣医史学雑誌』(43)191-198
- 「獣医史小話 牛の流行性感冒」大橋義光『獣医畜産新報』59(7)534
- 「犬・人—フィラリア症の比較知見と難病克服までの成果」黒川和雄『日本獣医史学雑誌』(43)188-190
- 「国の史跡になった小佐々市右衛門前親と愛犬ハナ丸の墓」小佐々学『日本獣医史学雑誌』(43)218-224
- 「獣医界不世出の偉人—越智勇一先生—」高橋貢『日本獣医史学雑誌』(43)180-187
- 「獣医史小話『家畜醫範』雑考」田中喬一『獣医畜産新報』59(11)886
- 「絵巻物にみる中世獣医史料(11)」中井薫『日本獣医史学雑誌』(43)211-215
- 「獣医史小話 近世の東西の牛医書」濱 學『獣医畜産新報』59(2)94
- 「獣医史小話 明治初期の家畜防疫」濱 學『獣医畜産新報』59(6)446
- 「日本牛病史」藤原弘『日本獣医史学雑誌』(43)1-165
- 「日本のペットフードの歴史」松井匠作『日本獣医史学雑誌』(43)199-203
- 「菊池東水著『解馬新書』について(抄)」松尾信一『日本医史学雑誌』52(1)148-149
- 「ジャワ軍政監武産業部ボゴール獣医学研究所(1942-45)」望月宏, 伊賀順之『日本獣医史学雑誌』(43)166-179
- 「二十世紀台湾の畜産獣医事情 [II-1]」林本欽, 大橋義光『日本獣医史学雑誌』(43)204-210

## 27 書簡

- 「池田文書の研究(二十九-三十)竹山屯の書簡について(その二-その三)」池田文書研究会『日本医史学雑誌』52(3-4)451-460, 639-645
- 「杏雨書屋所蔵書簡集(四)」多治比郁夫『杏雨』(9)151-275
- 「関野不二彦・秦勉造の書簡について」秦温信, 他『北辰』(7)19-24

「大槻磐溪発，長崎浩斎宛て書簡一補遺」正橋剛二『北陸医史』27(1)1-5

「フォン・ブレンデンシュタイン家所蔵，1824，1825年シーボルト関係書簡の翻刻並びに翻譯(1)」宮坂正英，ベルント・ノイマン，石川光庸『鳴滝紀要』(16)23-64

## 28 書誌学

「『五輪碎』の検討(抄)」遠藤次郎，中村輝子『日本医史学雑誌』52(1)150-151

「『薬品応手録』の原本と写本」扇浦正義『鳴滝紀要』(16)89-101

「『医方集成』『医方大成』の書誌」小曾戸洋『杏雨』(9)276-290

「曲直瀬養安院文書の研究(四)一補遺(抄)」小曾戸洋，町泉寿郎『日本医史学雑誌』52(1)156-157

「『初学人身窮理』松山棟庵・森下岩楠訳本のオリジナル本について(抄)」島田和幸『日本医史学雑誌』52(1)140-141

「越前三国・真田家伝来の医書群について」白崎昭一郎『北陸医史』27(1)17-40

「『医学天正記』について(七)」高島文一『啓迪』(24)32-39

「漫遊雑記について その四」高島文一『医譚』(101)1-3

「杉田玄白「蘭学事始」(平成翻訳版)(その2)異典之『医学と生物学』150(2)58-70

「中神琴溪引史書攷一その医学思想についての文献学的概観一」館野正美『中国語中国文化』(3)21-52

「中神琴溪引孟子攷一その医学思想についての文献学的概観一」館野正美『日本大学人文科学研究所紀要』(72)17-36

「中神琴溪『生生堂論語説』について一文献学・書誌学的，更に医学思想の観点から一」館野正美『日本医史学雑誌』52(4)541-559

「収蔵明治11年創刊「刀圭雑誌」について(抄)」田中祐尾『医譚』(101)79-80

「収蔵『刀圭雑誌』創刊号(明治十一年)について(抄)」田中祐尾『日本医史学雑誌』52(1)80-81

「新宮涼庭訳述の「続内科則」について(抄)」中西淳朗『日本医史学雑誌』52(1)126-127

「『類聚方広義』の中で言及されている『類聚方集覧』の12処方，類書における文字の異同について(抄)」永嶺宏一，鈴木重紀，中崎允人，秋葉哲生『日本東洋医学雑誌』57(別冊)190

「『傷寒金鏡録』の舌診図に関する研究(抄)」西巻明彦，陶粟嫻『日本歯科医史学会々誌』26(4)229

「金匱要略と舌診についての考察(抄)」西巻明彦，陶粟嫻『日本歯科医史学会々誌』26(4)230

「『古今著聞集』と『病草紙』(抄)」西巻明彦，屋代正幸『日本歯科医史学会々誌』26(4)215-216

「『病草紙』の条文に関する考察(抄)」西巻明彦，屋代正幸『日本歯科医史学会々誌』26(4)214

「『傷寒金鏡録』の思想についての考察(抄)」西巻明彦『日本医史学雑誌』52(1)36-37

「『病の草紙』の歴史学(第15回研究会講演録)」西山良平『杏雨』(9)3-22

「『西医学東漸史話』の仮製本について(抄)」秦温信，島田保久『日本医史学雑誌』52(1)146-147

「手塚良斎「医学所御用留」(九)」深瀬泰旦『日本医史学雑誌』52(2)315-318

「手塚良斎「医学所御用留」(一〇・完)」深瀬泰旦『日本医史学雑誌』52(3)461-464

「医心方の世界」槇佐知子『経絡治療』(165-166)21-30, 21-32

「日本古医書と漢文一大塚文庫資料の文体別・形態別分類(抄)」町泉寿郎，小曾戸洋『日本医史学雑誌』52(1)154-155

「千金方における量字についての考察」松岡尚則，山下幸一，村崎徹『日本医史学雑誌』52(2)199-210

「馬場貞由訳「遁花秘訣」写本一六種の書誌学的検討」松木明知『日本医史学雑誌』52(4)561-600

「趙開美の『仲景全書』と『宋板傷寒論』(抄)」真柳誠『日本医史学雑誌』52(1)144-145

「研究ノート：新たに発見されたシーボルト鳴滝別荘に関する記述について一古賀十二郎著「シーボルト叢考」一を中心に」宮坂正英『鳴滝紀要』(16)65-71

『橘窓書影』解説(1) 森由雄『漢方療法』10(3) 184-188

「竹岡友仙『半百録』について」八木聖弥『啓迪』(24) 40-49

「国立公文書館内閣文庫所蔵の脈書『診脈要捷』について(抄)」吉岡広記『日本医史学雑誌』52(1) 110-111

「病の草紙について」(第15回研究会講演集) 若杉準治『杏雨』(9) 23-54

「明治十四年出版佐藤英白訳「華氏電気療法」と A. M. Hamilton の原著について(抄)」渡部幹夫, 筒井淳治『日本医史学雑誌』52(1) 34-35

## 29 小児科史

「Toronto 小児病院におけるてんかん外科の歴史と現況」大坪宏『Neurological Surgery』34(12) 1217-1223

「肢体不自由児施設の歴史と課題(抄)」君塚葵『日本整形外科学会雑誌』80(4) S437

「日本の医療福祉における小児分野の音楽活動の歴史の探求(第1報) 明治時代の養育院周辺(抄)」幸絵美加『日本芸術療法学会誌』35(1~2) 130

『児科必携』から小児伝染性疾患の変遷をさぐる」深瀬泰旦『川崎市小児科医会会誌』(38) 6-27

「先天代謝異常の父アーチボルト・ガロッド」深瀬泰旦『東京慈恵会医科大学小児科学講座年報・同窓会誌2006』6-18

## 30 神経学史

「Felice Fontana (1730-1805) と末梢神経のらせん帯」古川哲雄『神経内科』65(2) 198-204

## 31 診断学史

「胆囊造影(Cholecystography)の開発 Evarts A Graham の貢献」佐藤裕『胆と膵』27(6) 429-433

「アレルギー研究の歴史(2)-(3)」信太郎夫『喘息』19(2-3) 81-84, 85-89

「コロトコフの「血圧測定の問題について」第二報と討議(抄)」藤倉一郎『日本医史学雑誌』52(1) 38-39

「【急性冠症候群 診断・治療法の進歩】診断・治療法の進歩」山本剛, 高野照夫『日本臨床』64(4) 617-623

## 32 整形外科史

「日本の整形外科による独創展 百年間の着想と努力を学ぶ 経皮的髄核摘出術(抄)」石井賢, 土方貞久, 小川祐人, 高石官成, 中村雅也, 松本守雄, 千葉一裕, 戸山芳昭『日本整形外科学会雑誌』80(3) S157

「日本の整形外科による独創展 百年間の着想と努力を学ぶ 先天脱臼の生後発生予防(抄)」石田勝正『日本整形外科学会雑誌』80(3) S149

「日本の整形外科による独創展 百年間の着想と努力を学ぶ Myelopathy Hand(抄)」岩崎幹季, 和田英路, 坂浦博伸, 藤井隆太郎, 小野啓郎『日本整形外科学会雑誌』80(3) S163

「日本の整形外科による独創展 百年間の着想と努力を学ぶ 河邨式脚延長術(抄)」内山英一, 山下敏彦『日本整形外科学会雑誌』80(3) S148

「日本の整形外科による独創展 百年間の着想と努力を学ぶ 骨関節疾患の治療法の開発と骨形態計測法の導入(抄)」遠藤直人『日本整形外科学会雑誌』80(3) S146

「日本の整形外科による独創展 百年間の着想と努力を学ぶ 3本スパイク型セメントレス人工臼蓋 独創的デザインと36年間の歴史(抄)」大谷卓也, 藤井英紀, 加藤努『日本整形外科学会雑誌』80(3) S152

「日本の整形外科による独創展 百年間の着想と努力を学ぶ 片開き式脊柱管拡大術(抄)」小川祐人, 平林冽, 千葉一裕, 松本守雄, 中村雅也, 高石官成, 石井賢, 戸山芳昭『日本整形外科学会雑誌』80(3) S158

「日本の整形外科による独創展 百年間の着想と努力を学ぶ Universal Subcutaneous Endoscope (USE) System の開発と関節外最小侵襲内視鏡手術(抄)」奥津一郎, ニノ宮節夫, 高取吉雄, 黒島永嗣, 稲波弘彦, 平木誠一郎, 浜中一輝, 吉田綾『日本整形外科学会雑誌』80(3) S165

「日本の整形外科による独創展 百年間の着想と努力を学ぶ 血管柄付き骨移植は日本から始



- まった（抄）」柿木良介，中山憲，山川知之，森本佳秀，中村孝志『日本整形外科学会雑誌』80(3) S154
- 「日本の整形外科による独創展 百年間の着想と努力を学ぶ 胸椎・腰椎前方脊柱再建の Anterior Spinal Instrumentation 開発と臨床応用（抄）」金田清志，鑑邦芳，庄野康弘，種市洋，伊東学，小谷善久『日本整形外科学会雑誌』80(3) S164
- 「整形外科の歴史 103 19世紀後期から20世紀中期へーイタリアの整形外科の近代化④ー」蒲原宏『整形外科看護』11(1) 94-99
- 「整形外科の歴史 104-111 20世紀初期から中後期へーイギリスの整形外科の近代化①-⑧」蒲原宏『整形外科看護』11(2-9) 186-190, 286-289, 400-401, 504-508, 610-613, 698-699, 822-824, 912-917
- 「整形外科の歴史 112-113 20世紀初期から中後期へーイギリスの整形外科の近代化⑨-⑩ ガードルストーン伝（1）-（2）」蒲原宏『整形外科看護』11(10-11) 1024-1027, 1238-1241
- 「整形外科の歴史 114 20世紀初期から中後期へーイギリスの整形外科の近代化⑪- トルエタの生涯と仕事（1）」蒲原宏『整形外科看護』11(12) 1238-1241
- 「日本の整形外科100年 整形外科学導入前夜」蒲原宏『臨床整形外科』41(1) 30-32
- 「日本の整形外科100年 整形外科講座の開設」蒲原宏『臨床整形外科』41(3) 264-266
- 「日本の整形外科100年 日本整形外科学会の設立とその後の発展」蒲原宏『臨床整形外科』41(5) 550-554
- 「日本の整形外科博物館創立への提言 日本人の業績と資料の保存を考える」蒲原宏『骨・関節・靱帯』19(5) 373-376
- 「日本整形外科の歴史と田代家（抄）」蒲原宏『日本医史学雑誌』52(1) 10-19
- 「日本の整形外科による独創展 百年間の着想と努力に学ぶ 骨の圧電気現象と電氣的仮骨（抄）」金郁哲，岡田皖，吉田隆司，岡佳伸，久保俊一『日本整形外科学会雑誌』80(3) S146
- 「日本の整形外科による独創展 百年間の着想と努力を学ぶ 脊髄誘発電位 記録法の開発と臨床応用（抄）」五嶋孝博，星野雄一，中村耕三，黒川高秀『日本整形外科学会雑誌』80(3) S155
- 「日本の整形外科100年 戦後のわが国の整形外科の発展（1） 独創的業績について」小林晶『臨床整形外科』41(8) 906-910
- 「日本の整形外科100年 戦後のわが国の整形外科の発展（2）」小林晶『臨床整形外科』41(9) 970-974
- 「【卒後20年生のスーパーローテイト】整形外科関節鏡の歴史と現状」酒井宏哉，平岡久忠，宇津木清実，井上純一『産科と婦人科』73(1) 54-58
- 「日本の整形外科100年 肢体不自由児施設の歴史的発展」坂口亮『臨床整形外科』41(6) 656-658
- 「昭和大学石打スキー診療所48年間の歴史より」阪本桂造『日本臨床スポーツ医学会誌』14(1) 1-7
- 「日本の整形外科による独創展 百年間の着想と努力を学ぶ Kienboeck病に対する Revascularization Procedure の開発と変遷（抄）」重松浩司，矢島弘嗣，小島康宣，河村健二，前川尚宜，高倉義典，玉井進，保利喜英『日本整形外科学会雑誌』80(3) S159
- 「日本の整形外科による独創展 百年間の着想と努力を学ぶ 転子間彎曲内反骨切り術（西尾）それまでの大腿骨内反骨切り術の欠点を解決したユニークな術式（抄）」首藤敏秀，神宮司誠也，中島康晴，山本卓明，岩本幸英『日本整形外科学会雑誌』80(3) S151
- 「日本の整形外科による独創展 百年間の着想と努力を学ぶ 西尾式寛骨臼移動術 世界最初の，関節軟骨を伴って移動させた骨盤骨切り術（抄）」神宮司誠也，岩本幸英『日本整形外科学会雑誌』80(3) S147
- 「日本の整形外科による独創展 百年間の着想と努力に学ぶ Kumamoto University Compression Plate その開発と発展（抄）」瀬井章，水田博志，高木克公『日本整形外科学会雑誌』80(3) S149
- 「日本の整形外科による独創展 百年間の着想と努力を学ぶ 人工足関節三世代の開発とその成績（抄）」高倉義典，田中康仁，熊井司，磯本慎二，成川功一，杉本和也『日本整形外科学会

- 雑誌』80(3)S156
- 「日本の整形外科による独創展 百年間の着想と努力を学ぶ 寛骨臼回転骨切り術(抄)」高取吉雄, 二ノ宮節夫, 山本基, 荻田達郎, 馬淵昭彦, 茂呂徹『日本整形外科学会雑誌』80(3)S150
- 「日本の整形外科による独創展 百年間の着想と努力を学ぶ 腰椎前方固定術(抄)」高橋和久『日本整形外科学会雑誌』80(3)S147
- 「日本の整形外科による独創展 百年間の着想と努力を学ぶ Petrie改良法によるペルテス病の治療(抄)」田村清, 斉藤聡彦, 笠井隆一『日本整形外科学会雑誌』80(3)S150
- 「次の百年へ 日本における脊椎・精髓外科の歴史と今後の課題/展望(抄)」戸山芳昭『日本整形外科学会雑誌』80(3)S179
- 「次の百年へ 田代義徳の整形外科 その行動と夢(抄)」中村耕三『日本整形外科学会雑誌』80(3)S178
- 「次の百年へ 日本における関節外科の歴史(抄)」中村孝志『日本整形外科学会雑誌』80(3)S179
- 「日本の整形外科100年 整形外科学における基礎医学の発展」廣谷速人『臨床整形外科』41(11)1160-1164
- 「日本の整形外科100年 外科学会における整形外科学」廣谷速人『臨床整形外科』41(2)150-152
- 「日本の整形外科100年 わが国の整形外科の展望」廣谷速人『臨床整形外科』41(12)1302-1306
- 「日本の整形外科による独創展 百年間の着想と努力を学ぶ 頸椎後縦靭帯骨化症に対する広範同時除圧椎弓切除術(抄)」広藤栄一, 宮崎和躬『日本整形外科学会雑誌』80(3)S151
- 「次の百年へ 「神中整形外科学」にみる学問の変遷(抄)」深尾憲二郎『日本整形外科学会雑誌』80(3)S180
- 「日本の整形外科による独創展 百年間の着想と努力を学ぶ 関節鏡の開発と臨床応用の歴史(抄)」福井尚志, 中村耕三『日本整形外科学会雑誌』80(3)S144
- 「日本の整形外科による独創展 百年間の着想と努力を学ぶ 変形性肘関節症に対する Outer-bridge一柏木法(抄)」藤岡宏幸, 牧野健, 坂井宏成, 国分毅, 名倉一成, 太田里砂, 井口哲弘, 角田雅也, 黒坂昌弘『日本整形外科学会雑誌』80(3)S153
- 「日本の整形外科による独創展 百年間の着想と努力を学ぶ 棘突起縦割法椎弓形成術の開発と発展(抄)」星野雄一, 黒川高秀, 中村耕三『日本整形外科学会雑誌』80(3)S161
- 「CLASSIC ARTICLES 1838年世界初の後縦靭帯骨化症の報告論文」松永俊二, 瀬戸口啓夫, 小宮節郎『臨床整形外科』41(3)244-253
- 「日本の整形外科による独創展 百年間の着想と努力を学ぶ Leeds-Keio人工靭帯(抄)」松本秀男, 富士川京輔, 大谷俊郎, 須田康文, 松崎健一郎, Seedhom Bahaa『日本整形外科学会雑誌』80(3)S162
- 「【運動器の10年 肩の痛み】肩関節外科の基礎を作った先人たち Codman先生, Neer先生, 神中正一先生, 信原克哉先生」三笠元彦『クリニシアン』53(5~6)425-429
- 「日本の整形外科による独創展 百年間の着想と努力を学ぶ 骨再生治療の先駆けとしての胚芽骨(Os Germinativum)(抄)」光安廣倫, 岩本幸英『日本整形外科学会雑誌』80(3)S145
- 「次の百年へ 日本における手の外科の歴史(抄)」三浪明男『日本整形外科学会雑誌』80(3)S180
- 「最小侵襲手術の幕開け—関節鏡視下手術の歴史(抄)」守屋秀繁『日本最小侵襲整形外科学会誌』6(1)39
- 「日本の整形外科による独創展 百年間の着想と努力を学ぶ 頸椎後縦靭帯骨化症に対する骨化浮上術(抄)」山浦伊娑吉, 四宮謙一, 上小鶴正弘, 中井修, 黒佐義郎, 松岡正, 進藤重雄, 高橋誠『日本整形外科学会雑誌』80(3)S157
- 「次の百年へ 日整学会学術発表の歴史にみる学問の変遷(抄)」山室隆夫『日本整形外科学会雑誌』80(3)S178
- 「CLASSIC ARTICLES 後縦靭帯骨化症 最初の報告から診療ガイドラインまで」米延策雄『臨床整形外科』41(3)254

## 33 精神医学史

- 「台湾における精神医学 過去，現在そして将来」に関する討論（Discussion on Psychiatry in Taiwan: Past, Present and Future）（英語）」Chang Hwan-II 『International Medical Journal』13 (Suppl. 1) 29-30
- 「韓国における精神医学 過去，現在そして将来（Psychiatry in Korea: Past, Present and Future）（英語）」Rhi Bou-Yong 『International Medical Journal』13 (Suppl. 1) 31-40
- 「神経筋疾患領域における Jules Dejerine の業績」Fardeau Michel 『精神医学史研究』10 (1) 15-20
- 「台湾における精神医学 過去，現在そして将来（Psychiatry in Taiwan: Past, Present and Future）（英語）」Soong Wei-Tsuen 『International Medical Journal』13 (Suppl. 1) 21-28
- 「探究心における精神療法 日本における精神療法の歴史に関する討論（Psychotherapy in a Searching Mind; Discussion on the History of Psychotherapy in Japan）（英語）」Hwu Hai-Gwo 『International Medical Journal』13 (Suppl. 1) 19-20
- 「中国における精神医学 過去，現在そして将来（Psychiatry in China: Past, Present and Future）（英語）」Zhang Liang Dong, Lu Ming Kang 『International Medical Journal』13 (Suppl. 1) 44-51
- 「東アジアの精神医学 近年の歴史と交流 精神医学における日韓交流 世界の精神医学においてアジアの精神医学の役割を拡大させる方法と意味（英語）（抄）（Interaction between Korea and Japan in Psychiatry: Way and means to increase the role of Asian psychiatry in Global psychiatry）」Kim Yong Sik 『精神神経学雑誌』（2006 特別）S248
- 「東アジアの精神医学 近年の歴史と交流 台湾の精神医学 国際交流（英語）（抄）（Taiwanese Psychiatry: International Interactions）」Hwu Hai-Gwo 『精神神経学雑誌』（2006 特別）S247
- 「東アジアの精神医学 近年の歴史と交流 中国の精神医学と東アジア（英語）（抄）（Chinese Psychiatry and East Asia）」Zou Yizhuang 『精神神経学雑誌』（2006 特別）S248
- 「森田療法の起源とモンテッソーリ教育法との関連についての研究」我妻則明 『日本森田療法学会雑誌』17 (2) 89-95
- 「【医療と福祉の連携の近未来像】精神障害者と共に生きる社会を目指して 回顧と展望」秋元波留夫 『心と社会』37 (2) 56-73
- 「近代精神医学におけるフェティシズム概念の導入」上尾真道 『精神医学史研究』10 (2) 111-121
- 「精神医療と精神保健福祉の現状と問題 おもに教育の視点から 精神医療から精神福祉へ 戦後の論争をふり返って（抄）」浅野弘毅 『精神神経学雑誌』（2006 特別）S135
- 「精神障害者施設・処遇前史 東京府病院から東京府癲狂院を中心に」綾部優子 『精神医学史研究』10 (2) 92-102
- 「ロールシャッハテストと内田勇三郎（抄）」安齊順子，中谷陽二 『精神医学史研究』10 (1) 49-50
- 「精神医療 千一夜物語Ⅳ 青年時代の教授たち」大原健士郎 『最新精神医学』11 (4) 397-401
- 「単一精神病の現代的意義 Wernicke 没後 100 年にあたって ネオ・ジャクソニズムにおける均一性解体と局所性解体」大東祥孝 『精神医学史研究』10 (1) 29-34
- 「【フィールドワークする精神科医たち】一精神病院の思い出」小川恵，金光洙 『治療の声』7 (1) 45-49
- 「欧州司法精神医学史 フランス編（1）フランス司法精神医学誕生前夜 Fodere 法医学における精神医学（抄）」影山任佐 『精神医学史研究』10 (1) 51
- 「欧州司法精神医学史 フランス編（2）19 世紀における司法精神医学上の大論争と現代精神医療（抄）」影山任佐 『精神医学史研究』10 (1) 51
- 「私にとって精神医学史とはなにか」影山任佐 『精神医学史研究』10 (1) 3-6
- 「社会不安障害（対人恐怖）の治療 対人恐怖と社会不安障害の歴史と差異」笠原敏彦 『精神神経学雑誌』108 (7) 750-753
- 「精神科薬物療法の半世紀」風祭元 『心と社会』37 (2) 108-113
- 「太平洋戦争終結以前の台湾の精神医学・医療」風祭元 『精神医学史研究』10 (1) 57-66
- 「日本近代向精神薬療法史 わが国の精神科薬物療法 近代向精神薬導入以前」風祭元 『臨床精神医学』35 (1) 59-65

- 「日本近代向精神薬療法史 クロルプロマジンの向精神作用の発見とわが国での臨床への導入」風祭元『臨床精神医学』35(2)199-205
- 「日本近代向精神薬療法史 レセルピンと後発のフェノチアジン化合物などの初期Neuroleptica」風祭元『臨床精神医学』35(3)325-330
- 「日本近代向精神薬療法史 最初のトランキライザー・メプロバメートとその後のataractica」風祭元『臨床精神医学』35(4)425-431
- 「日本近代向精神薬療法史 三環系抗うつ薬とMAO阻害剤」風祭元『臨床精神医学』35(5)545-549
- 「日本近代向精神薬療法史 精神刺激薬と覚醒剤」風祭元『臨床精神医学』35(7)999-1004
- 「日本近代向精神薬療法史 気分安定薬・抗躁薬」風祭元『臨床精神医学』35(8)1111-1116
- 「日本近代向精神薬療法史 ささまざまな抗精神病薬」風祭元『臨床精神医学』35(10)1481-1487
- 「日本近代向精神薬療法史 抗てんかん薬・睡眠薬・抗パーキンソン薬・抗酒薬など」風祭元『臨床精神医学』35(11)1583-1589
- 「日本近代向精神薬療法史 向精神薬の長期大量多剤併用療法と副作用」風祭元『臨床精神医学』35(12)1683-1689
- 「単一精神病の現代的意義 Wernicke 没後100年にあたって グリーゼンガーにおける単一精神病論 精神疾患概念の脱構築に向けて」加藤敏『精神医学史研究』10(1)35-41
- 「「浮世床」「東海道中膝栗毛」にみる江戸時代のシャーマニズム(抄)」金川英雄『精神医学史研究』10(1)46
- 「「浮世床」にみる江戸時代のシャーマニズム(東海道中膝栗毛も含めて)」金川英雄『精神医学研究所業績集』(42)133-134
- 「「鸚鵡籠中記」にみる江戸時代の酒害」金川英雄『精神医学研究所業績集』(42)135-136
- 「「鸚鵡籠中記」にみる江戸時代の酒害(抄)」金川英雄『精神医学史研究』10(1)46
- 「中世日本における精神病患者とその社会状況」上宇都ゆりほ『精神医学史研究』10(2)103-110
- 「精神障害領域作業療法におけるこの10年と今後」香山明美『作業療法ジャーナル』40(10)1093-1108
- 「下田執着気質論の現代的解釈」神庭重信『九州神経精神医学』52(2)79-88
- 「J. Guislainの独自性について(抄)」小泉明『精神医学史研究』10(1)53
- 「謎と狂気」酒井明夫『臨床精神病理』27(2)83-96
- 「明治時代からの日本精神医学の小史(A Brief History of Japanese Psychiatry since the Meiji Era)(英語)」Sakai Akio, Otsuka Kotaro『International Medical Journal』13(Suppl. 1)9-12
- 「日本の精神病理学・回顧と展望 藤縄昭先生をお訪ねして」新宮一成, 西岡和郎『臨床精神病理』27(3)197-212
- 「精神医学史の現代的意味」鈴木晃仁『精神医学史研究』10(2)81-83
- 「江戸時代における精神神経疾患の位置づけ 江戸時代の薬の効能書による検討(抄)」鈴木英鷹『精神医学史研究』10(1)45
- 「江戸時代における精神障害の位置付け(江戸時代の薬の効能書による考察)(抄)」鈴木英鷹, 本多義治, 本多秀治『精神神経学雑誌』(2006特別)S378
- 「江戸時代の薬の効能書きにみる精神神経疾患の病名(抄)」鈴木英鷹, 本多義治, 本多秀治『精神医学史研究』10(1)45
- 「Revisiting Moral Treatment: Psychiatric Therapeutics in England 1750-1850」鈴木晃仁『日本医史学雑誌』52(4)690-704
- 「精神医療の歴史 医療・医学の技術思想をたどる ローマ時代の医療 ギリシャ医学の影響」竹中星郎『精神科看護』(161)73-77
- 「精神医療の歴史 医療・医学の技術思想をたどる ローマ時代の医療 ガレノス, 精神医療」竹中星郎『精神科看護』(162)73-77
- 「精神医療の歴史 医療・医学の技術思想をたどる キリスト教団の誕生・看護の曙光」竹中星郎『精神科看護』(163)72-76
- 「精神医療の歴史 医療・医学の技術思想をたどる 看護の歴史 看護はキリスト教から始まった」竹中星郎『精神科看護』(164)63-67
- 「精神医療の歴史 医療・医学の技術思想をたどる アラビア医学 イスラム文化の繁栄」竹中

- 星郎『精神科看護』(165)71-75
- 「精神医療の歴史 医療・医学の技術思想をたどる 古代のインドと中国の医療」竹中星郎『精神科看護』(166)73-77
- 「精神医療の歴史 医療・医学の技術思想をたどる 中世ヨーロッパと医療 中世史はヨーロッパの成立の歴史」竹中星郎『精神科看護』(167)70-74
- 「精神医療の歴史 医療・医学の技術思想をたどる 中世ヨーロッパと医療 修道院医療・サレルノ医学校・精神医療」竹中星郎『精神科看護』(168)69-73
- 「精神医療の歴史 医療・医学の技術思想をたどる 近代医学への道すじ 12世紀から16世紀」竹中星郎『精神科看護』(169)73-77
- 「精神医療の歴史 医療・医学の技術思想をたどる 近代医学への道すじ「個人」の誕生，魔女狩り」竹中星郎『精神科看護』33(11)70-74
- 「精神医療の歴史 医療・医学の技術思想をたどる 17世紀科学革命の時代「大航海時代」から絶対主義へ」竹中星郎『精神科看護』33(12)61-65
- 「精神医療の歴史 医療・医学の技術思想をたどる 17世紀科学革命の時代 キリスト教と科学」竹中星郎『精神科看護』34(1)68-72
- 「【神経症圏障害のすべて】総論 神経症圏障害の概念の歴史」田代信雄『臨床精神医学』35(6)603-608
- 「【アスペルガー障害】アスペルガー障害Q&A アスペルガー障害が広く知られるようになったのはいつごろですか？」十一元三『こころのりんしょう a・la・carte』25(2)144
- 「犯罪行為をおかした精神障害者の処遇をめぐる歴史的な側面からの視点」戸塚悦朗『日本社会精神医学会雑誌』14(3)271-294
- 「【うつ病のすべて】診断・臨床 うつ病概念の変遷」中川誠秀，広瀬徹也『医学のあゆみ』219(13)893-897
- 「精神病患者監護法施行後も京都の岩倉に精神病患者家族的看護が残った理由」中村治『精神医学史研究』10(2)84-91
- 「日本における精神療法の歴史 (The History of Psychotherapy in Japan) (英語)」Nakamura Kei『International Medical Journal』13(Suppl. 1)13-18
- 「【双極性障害】双極性障害100年の歴史を振り返る 双極性障害，非定型精神病，統合失調症」中山和彦，小高文聰『臨床精神医学』35(10)1391-1394
- 「【摂食障害の理論と実践】摂食障害の時代的変遷」西園マーハ文『最新精神医学』11(3)255-259
- 「うつ病の真実 ローマ時代からルネサンス期に至るうつ病」野村総一郎『こころの科学』(128)97-103
- 「Geel 研究 (その7) コロニー見学と北米の精神医療 (抄)」橋本明『精神医学史研究』10(1)50
- 「戦前における精神病患者の公立監置室について (抄)」橋本明『日本医史学雑誌』52(1)92-93
- 「【統合失調症解明へのアプローチ】統合失調症の概念の成立と歴史」人見一彦『精神科』8(4)253-256
- 「単一精神病の現代的意義 Wernicke 没後100年にあたって 単一精神病の系譜 ウェルニッケを中心に」松下正明『精神医学史研究』10(1)23-28
- 「マクノートン・ルールをめぐる (抄)」松下正明『精神医学史研究』10(1)50
- 「【パーソナリティ障害】パーソナリティ障害という診断名はいつごろ，どのようにしてつけられたのですか？」的場麻帆『こころのりんしょう a・la・carte』25(4)468
- 「精神医学の潮流 「無動性発作の臨床的研究」をめぐる回顧」森温理『精神神経学雑誌』108(3)211-216
- 「【不安障害】不安障害という診断名がつく以前は，どのような診断名が使われていたのですか？」矢野勝治『こころのりんしょう a・la・carte』25(3)300
- 「Joseph Jules Dejerine の遺産 読み書きと角回」山鳥重『精神医学史研究』10(1)7-14
- 「和歌山県における精神障害者処遇の歴史 精神病患者監護法における監置の実態」山本明弘，板原和子，志波充『和歌山県立医科大学保健看護学部紀要』2, 7-16

「吉川博士が掘り起こす精神医療のおたくの歴史研究 古い診療録を読む」吉川隆博『精神科看護』(161) 86-87

### 35 西洋医学史

「世界医学史の旅⑫バンコクの医学博物館群」石田純郎『ミクروسコピア』23(1) 51-57

「世界医学史の旅⑬韓国南部に行く 医療系の史跡と日本ゆかりの建ても」石田純郎『ミクロスコピア』23(2) 136-141

「世界医学史の旅⑭スコットランド医史跡散歩 付ロンドン」石田純郎『ミクロスコピア』23(3) 228-235

「世界医学史の旅⑮旧ランナー王国を訪れて タイ王国の城壁都市群と少数民族の村」石田純郎『ミクロスコピア』23(4) 305-310

「ヴェサリウスの父アンドリエスの, 神聖ローマ皇帝カール五世による嫡出承認書」泉彪之助『日本医史学雑誌』52(2) 293-304

「キナ渡来伝説の戯曲, ホセ・マリア・ペマン「聖なる副王妃」」泉彪之助『日本医史学雑誌』52(2) 311-314

「懐旧のドイツ その十四-十六 キールの日々 (1)-(3)」上野賢一『ミクロスコピア』23(1-3) 47-50, 121-124, 217-220

「懐旧のドイツ その十七 ドレスデンの贅 (1)」上野賢一『ミクロスコピア』23(4) 301-304

「「電気の気」」内林政夫『杏雨』(9) 95-98

「エストニアのタルツ (ドルパト) 大学における著名な解剖学者 歴史的概説 (Prominent Anatomists of Tartu (Dorpat) in Estonia: A Historical Overview) (英語)」フッサルピレット, 和氣健二郎, フッサルウロ, タンクラーハイン, 佐藤哲二『鶴見歯学』32(3) 151-159

「医学史の旅 イタリア ヴェローナ」星和夫『日本病院会雑誌』53(11) 1679-1682

「医学史の旅 イタリア バドヴァ」星和夫『日本病院会雑誌』53(12) 1847-1850

### 37 生理学史

「生理学序説 『生理』をどう捉えるか (1)」神野耕太郎『日本生理学雑誌』68(12) 429-443

「Minor法と臨床発汗学の歴史的展開」田村直俊『発汗学』13(2) 39-44

「動物の生理学クロニクル 血圧調節と高血圧 精神医学の夜明け前」西田利穂『SA Medicine』8(1) 75-79

「動物の生理学クロニクル 血圧調節と高血圧 フランス革命と精神医学」西田利穂『SA Medicine』8(2) 74-78

「動物の生理学クロニクル 血圧調節と高血圧 動物磁気説」西田利穂『SA Medicine』8(3) 66-70

「動物の生理学クロニクル 血圧調節と高血圧 疑似科学」西田利穂『SA Medicine』8(4) 72-76

「動物の生理学クロニクル 血圧調節と高血圧 催眠術と暗示療法」西田利穂『SA Medicine』8(5) 79-83

「動物の生理学クロニクル 血圧調節と高血圧 幻覚の歴史」西田利穂『SA Medicine』8(6) 90-94

「ハーヴェイの血液循環論とその受容」深瀬泰旦『川崎市小児科医会会誌』(37) 3-13

### 38 地方史

「医学は長崎から (抄)」相川忠臣『西日本泌尿器科』68(増刊) 116-117

「地域蘭学と北陸・江戸 長崎家と佐渡家文書を中心に」青木歳幸『北陸医史』27(1) 96-104

「病の治癒と物語の生起・宮古諸島, 伊良部島 A 村落の民俗医療の事例から」東資子『日本民俗学』(248)

「山形市立病院済世館甲種看護婦養成所開学の経緯に関する研究—医療法による看護婦定員不足の見込みと乙種看護婦養成所設置への傾倒を中心に—」大沼優子, 高橋みや子『日本看護歴史学会第20回学術集会講演集』

「神奈川県産婆会設立の経緯と活動」小川景子『東海大学短期大学紀要』(39) 1-8

「明治期栃木県における産婆の規則—産婆規則成立まで—」小川景子『東海大学医療技術短期大学総合看護研究施設論文集』(15) 85-91

「豊後杵築の医学史・補遺 (抄)」佐藤裕『日本医史学雑誌』52(1) 142-143

「七尾の究理堂門人」佐原吉博『北陸医史』27(1) 12-16

- 「開拓使時代の文書（一）」島田保久『北辰』(7) 30-40
- 「歴史」との再会 沖縄の地域保健と公衆衛生 看護婦駐在制 杉山章子『看護教育』47(11) 976-983
- 「住民主体の健康増進活動の形成—長野県「八千穂村」における栄養改善運動の実践から—」杉山章子『日本農村医学会雑誌』55(4) 393-401
- 「住民による健康増進活動の形成 その2」杉山章子『日本福祉大学社会福祉論集』115, 77-89
- 「住民による健康増進活動の形成（その三）—沖縄県「佐敷町」における実践から—（抄）」杉山章子『日本医史学雑誌』52(1) 88-89
- 「杉田玄白と因伯の漢方医師（抄）」高橋伸明『日本医史学雑誌』52(1) 114-115
- 「明治前期における新潟県の医師組合」竹原万雄『地方史研究』(321) 1-19
- 「青洲，水銀そして玄白—医と水銀—紀伊半島横断の旅（保団連文化企画）—によせて」中西淳朗『月刊保団連』(899) 42-43
- 「医史資料 名古屋市医先哲マップ」中村新三『現代医学』54(2) 373-379
- 「近代岡山における健康文化村の創成 濟世顧問 山本徳一の実践」二宮一枝『岡山県立大学保健福祉学部紀要』(12) 1-10
- 「北海道に渡った鍼灸マッサージ師たち 開拓者の心と体を支えた施術者の礎」長谷川尚哉『医道の日本』65(7) 160-167
- 「高岡人気質と風習としての天神祭」—高岡医者連名を以て御奉公方高岡町会所願出でしこと— 飛見一郎『北陸医史』27(1) 6-11
- 「京都の精神医療史」福居顯二『日本森田療法学会雑誌』17(1) 1-6
- 「仁寿山雑記」藤戸素純『姫路市医師会報』1-76
- 「福井県がん登録の歴史と現況（抄）」森田信人『診療録管理』18(2) 43
- 「大阪医薬史跡を訪ねて② 適塾と緒方洪庵」米田該典『漢方研究』(2006特集号) 5-8
- 「大阪医薬史跡を訪ねて① 神農さんと道修町」米田該典，鈴木五郎『漢方研究』(2006特集号) 2-4
- 「大阪医薬史跡を訪ねて③ 華岡青洲と華岡鹿城」米田該典，鈴木五郎『漢方研究』(2006特集号) 9-13
- 「大阪医薬史跡を訪ねて④ 山脇東洋と永富独嘯庵」米田該典，鈴木五郎『漢方研究』(2006特集号) 14-18
- 「大阪医薬史跡を訪ねて⑤—⑦ 夕陽丘町に眠る名医達（1）—（3）」米田該典，鈴木五郎『漢方研究』(2006特集号) 19-24, 25-30, 31-37
- 「大阪医薬史跡を訪ねて⑧ 龍海寺に眠る名医達」米田該典，鈴木五郎『漢方研究』(2006特集号) 38-45
- 「大阪医薬史跡を訪ねて⑨ 「史跡巡り」を終えるにあたって 医薬史跡からみた大阪の医薬学の特徴・その他の大阪医薬史跡紹介（適塾他）」米田該典，鈴木五郎『漢方研究』(2006特集号) 46-59

### 39 治療史

- 「乳癌の外科的治療の歴史（A HISTORY OF SURGICAL MANAGEMENT OF BREAST CANCER）（英語）（抄）」Ashikari Roy H.『日本乳癌学会総会プログラム抄録集14回』152-153
- 「消毒法の発明と変遷 手術の手指の消毒も含めて」青柳賀子，松田圭二，高田忠敬『帝京医学雑誌』29(5) 303-305
- 「高尿酸血症・痛風治療の今後 歴史的視点から（抄）」赤岡家雄『日本痛風・核酸代謝学会総会第39回プログラム』（抄録集）32
- 「【Brachytherapy Today 前立腺がん1251 永久挿入療法のポイント】前立腺がん治療法の変遷とBrachytherapy 放射線治療を中心とした前立腺がん治療の変遷とその展望」秋元哲夫，河村英将『INNERVISION』21(10) 1-4
- 「H. pylori 除菌治療の歩み 臨床の立場から」稲葉知己，河合公三『香川県内科医会誌』42, 3-12
- 「すこし歴史の話をしましょうか はじめての透析医療史 新しいダイアライザーの登場と単針透析」太田和夫『透析ケア』12(1) 88-91
- 「すこし歴史の話をしましょうか はじめての透析医療史 透析療法のならなる可能性を求めて」太田和夫『透析ケア』12(2) 198-200
- 「すこし歴史の話をしましょうか はじめての透

- 析医療史 「何とかしたい」という思い」太田和夫『透析ケア』12(3)308-310
- 「すこし歴史の話をしましょうか はじめての透析医療史 血液浄化の質的向上をめざして」太田和夫『透析ケア』12(4)421-423
- 「すこし歴史の話をしましょうか はじめての透析医療史 透析で誘導された新しい病態」太田和夫『透析ケア』12(5)521-524
- 「すこし歴史の話をしましょうか はじめての透析医療史 CAPD治療における人の輪づくり」太田和夫『透析ケア』12(6)90-93
- 「すこし歴史の話をしましょうか はじめての透析医療史 透析医療における技士の存在」太田和夫『透析ケア』12(7)744-746
- 「すこし歴史の話をしましょうか はじめての透析医療史 技士の法制化に本格的に取り組む」太田和夫『透析ケア』12(8)858-861
- 「すこし歴史の話をしましょうか はじめての透析医療史」太田和夫『透析ケア』12(9)964-967
- 「すこし歴史の話をしましょうか はじめての透析医療史 臨床工学技士誕生と新しい治療法の普及」太田和夫『透析ケア』12(10)1078-1081
- 「すこし歴史の話をしましょうか はじめての透析医療史 人工血管の改良とさらなる発展」太田和夫『透析ケア』12(11)1184-1187
- 「すこし歴史の話をしましょうか はじめての透析医療史 臓器移植という夢への挑戦」太田和夫『透析ケア』12(12)1286-1288
- 「【ストーン 秘められた力を探る】宝石療法の歴史」大槻真一郎『aromatopia』15(3)3-8
- 「臨床栄養管理法の過去・現在・未来」大柳治正『機能性食品と薬理栄養』3(5)421-434
- 「温泉と医療 温泉療養の「これまで」と「これから」」小笠原真澄『温泉科学』56(3)69-72
- 「原発性乳癌の治療法の変遷(抄)」霞富士雄『超音波検査技術』31(2)141
- 「治療の歴史 スペインインフルエンザ」加地正一郎『治療学』40(12)1391-1394
- 「【皮膚科最新光線療法マニュアル】光線療法の歴史」上出良一『Derma.』(116)11-14
- 「炎症制御薬の歴史・現状と将来展望(抄)」川合真一『Inflammation and Regeneration』26(4)262
- 「HOTの20年, 過去, 現在, 未来 HOTの歴史と現状」木村謙太郎『日本呼吸管理学会誌』15(4)513
- 「心房細動の10年 心房細動に対する外科治療の歴史(抄)」小坂井嘉夫『Journal of Arrhythmia』22(Suppl.)137
- 「心房細動の10年 心房細動に対する外科治療の歴史(抄)」小坂井嘉夫『心電図』26(4)393
- 「ウルソデキシコール酸(UDCA)の発見(抄)」佐分利保雄『神奈川医学会雑誌』33(1)76-77
- 「【栄養投与ルートの工夫と進歩】経静脈栄養ルート開発の歴史とその進歩」山東勤弥, 岡田正『栄養-評価と治療』23(5)414-419
- 「【腎疾患とアフェレシス 最近の動向】アフェレシス治療の歴史と展望」渋谷統壽, 日本アフェレシス学会『腎と透析』60(2)184-190
- 「抗生物質が発明されるまでは感染症の治療をどうしていたか? その後の変遷は?」白土裕之, 松田圭二, 高田忠敬『帝京医学雑誌』29(6)349-352
- 「生活療法の基礎理念とその思想史」臺 弘『精神医学』48(11)1237-1252
- 「作業療法の40年を振り返る 日本の精神科作業療法40年の導入・定着・刷新」大丸幸『作業療法』25(5)417-422
- 「医療用ウジ治療 MDTの歴史と世界の現状」高瀬仁志『Pharma Medica』24(3)170-176
- 「治療の歴史 アルドステロン研究の50年」竹田亮祐『治療学』40(8)915-921
- 「黎明期の心理臨床 日本における心理臨床の黎明期」津川律子, 辻悟, 畠瀬稔, 岡部祥平, 秋谷たつ子, 成瀬悟策, 星野命, 恩田彰『心理臨床学研究』24(特別)59-81
- 「【泌尿器科医が知っておかねばならない透析医療の最新知識】透析療法の歴史」出口修宏『Urology View』4(3)8-10
- 「作業療法の40年を振り返る 精神系作業療法の魅力と苦勞」富岡詔子『作業療法』25(5)409-416
- 「【褥瘡の医療 栄養管理をめぐる】褥瘡医療の歴史」中條俊夫『栄養-評価と治療』23(2)111-115
- 「かんたんEMS入門 BLS(Basic Life Support)の



- 歴史 Chest Compression の変遷（1）」中村陽子，  
DayaMohamud『ER マガジン』3(2) 169-171
- 「【経静脈・経腸栄養 プランニングとその実践】  
わが国の栄養療法の現状 栄養療法発展の歴史的  
背景」福島秀樹，森脇久隆『Medicina』43(5)  
718-721
- 「【がん化学療法看護】がん化学療法の基礎知識  
歴史的背景と将来展望」堀池篤『がん看護』11  
(2) 104-107
- 「作業療法の40年を振り返る」松井紀和『作業療  
法』25(5) 406-408
- 「如何にして多剤大量療法を脱却するか わが国  
の多剤併用大量療法の歴史と現状，現在までの  
取り組みと課題」宮本聖也『精神神経学雑誌』  
108(6) 599-607
- 「電気けいれん療法の再評価（磁気刺激療法を含  
む）伝 電気けいれん療法の歴史と現状（抄）」  
本橋伸高『精神神経学雑誌』（2006特別）S240
- 「結核の医療環境の変遷」吉山崇，石川信克『呼  
吸』25(12) 1095-1103
- 40 伝記**
- 「京都看病婦学校アイダ・スミスに関する記録  
（抄）」小野尚香『医譚』（101）82-83
- 「科学者のふるさとを訪ねる① 生命の起源の謎  
に挑んだ生化学者 赤堀四郎（1900~1992）」  
西條敏美『ミクロスコピア』23(2) 112-114
- 「Joaquin Maria Albarran Y Dominguez 細菌学者，組  
織学者で泌尿器病学者 キューバの孤児から  
ノーベル賞候補者への人生（英語）」Casey Rowan  
G, Thornhill John A. 『International Journal of Urol-  
ogy』13(9) 1159-1161
- 「池田謙斎について」深瀬泰旦『思文閣出版東大  
医学部初代総理池田謙斎（上）』41-44
- 「池田多仲について」深瀬泰旦『思文閣出版東大  
医学部初代総理池田謙斎（上）』3-7
- 「青い血のカルテ イザナミの産褥熱」早川智『産  
科と婦人科』73(6) 797-799
- 「GHQによる「鍼灸禁止」勧告と石川日出鶴丸」  
東郷俊宏『東方医学』21(4) 49
- 「石坂堅壯の地図「撮海一覽」と「小学養生読本」  
（抄）」中山沃『医譚』（101）81-82
- 「石原忍と心理学（抄）」鈴木聡志『日本医史学雑  
誌』52(1) 42-43
- 「治療の歴史 治療学に漢方を取り入れることを  
提唱した先覚者 板倉武」丁宗鐵，大塚恭男  
『治療学』40(4) 469-472
- 「金沢大学医学部の細菌学初代教授 上田計二先  
生に関する資料」寺畑喜朔『北陸医史』27(1)  
74-79
- 「先達医家の肖像124 Paul Ehrlich（1854-1915）」  
酒井シヅ『MEDICAL DIGEST』（400）表3
- 「江川義雄先生を偲んで」原田康夫『日本医史学  
雑誌』52(4) 637-638
- 「追悼 江橋節郎先生を偲んで」菅野富夫『ミク  
ロスコピア』23(4) 276
- 「大蔵平三陸軍中將」深谷謙二『日本獣医史学雑  
誌』（43）216-217
- 「ゆかり紀行 緒方洪庵と適塾」土方康世『WE』  
(15) 16
- 「科学者のふるさとを訪ねる③ 「公許女医登録第  
一号」となった女医 荻野吟子（1851-1913）  
埼玉県熊谷市依瀬」西條敏美『ミクロスコピア』  
23(4) 277-279
- 「歴史に残る斯界の人々 其の四十四 小野文恵」  
『医道の日本』65(8) 口絵
- 「日本の歯科免許第一号者 小幡英之助（抄）」樋  
口輝雄『日本医史学雑誌』52(1) 30-31
- 「澤瀉久敬（おもだかひさゆき）大阪大学文学部  
教授と医学概論（抄）」飯塚修三『医譚』（101）79
- 「先人はかく語りき vol.5 貝原益軒（1630-1714）」  
酒井シヅ『武田薬報』（445）表3
- 「発見！ 貝原益軒・晩年の養生法—『用薬日記』  
にみる処方術 第1回—第5回」山崎光夫『大  
塚薬報』（617-621）50-52，48-50，54-56，52-55，  
46-48
- 「適塾門下生，「備中都宇郡早島 金光廉平」—第  
二報 とくに廉平の養父佐藤敬哉について—  
（抄）」木村丹，松田俊悟『医譚』（101）77-78
- 「歴史に残る斯界の人々 其の四十五 木下晴都」  
『医道の日本』65(10) 口絵
- 「収集家と学問の近代化について—木村兼葭堂の  
場合（抄）」W・ミヒエル『医譚』（101）89-90
- 「京都看病婦学校開校前夜の医学校設立構想—来

- 日医療宣教師ベリー J. C. Berry 宛て, アメリカン・ボード幹事クラーク N. G. Clark の書簡 1884年5月~1885年12月から読む一 小野尚香『医譚』(101) 31-45
- 「歴史に残る斯界の人々 其の四十二 倉島宗二」『医道の日本』65(6) 口絵
- 「先達医家の肖像 127 児島保彦 (Kojima Yasuhiko, 1928.2.13-)」酒井シヅ『MEDICAL DIGEST』(403) 表3
- 「古典あれこれ ローベルト・コッホと細菌学—その2—」小川浩司『JOHNS』22(1) 104-110
- 「歴史に残る斯界の人々 其の四十六 小林三剛」『医道の日本』65(10) 口絵
- 「追悼 小松良夫先生 信念の人—小松良夫さんを悼む ほか」平井正也, 東田敏夫, 友吉唯夫, 長門谷洋治, 上坂良子, 加賀谷一, 青木純一, 谷莊吉, 野村拓, 神谷昭典『医学史研究 2004-2005』(86) 1-14
- 「追悼 前医学史研究会代表幹事 小松良夫先生 (1923-2004)」水野洋『医学史研究 2004-2005』(86) 15-20
- 「先達医家の肖像 126 心臓病学の先駆者 Sir Dominic Corrigan (1802-1880)」酒井シヅ『MEDICAL DIGEST』(402) 表3
- 「齋藤茂吉における病いと老いと (抄)」岡田靖雄『日本医史学雑誌』52(2) 330-333
- 「慈恵・坂口五郎翁伝 (抄)」山岸稔『日本医事新報』(4270) 57-58
- 「吾が師坂口の漢方」中田敬吾『日本東洋医学雑誌』57(1) 1-14
- 「扶氏医戒之略と阪谷朗廬 (抄)」小田皓二『医譚』(101) 80-81
- 「医者も知りたい医者のはなし 日本赤十字創設者 佐野常民 (1822-1902) その3」木村専太郎『臨床整形外科』41(1) 34-36
- 「聖フランシスコ・ザビエル創造性の環境と時代背景」金川英雄『精神医学研究所業績集』(42) 47-52
- 「シーボルトの語学力 1・ラテン語 2」宮坂正英『長崎学研究』(8)
- 「フォン・ブランデンシュタイン家所蔵シーボルト関係書簡の調査解読研究」宮坂正英『日本歴史』(692) 88-89
- 「ジェンナーを知らない若者たちへ (抄)」加藤四郎『中部日本整形外科災害外科学会雑誌』49(秋季学会) 2
- 「済生学舎から日本医科大学への懸橋となった第三代学長 塩田廣重 (抄)」岩崎一, 殿崎正明, 唐沢信安『日本医史学雑誌』52(1) 78-79
- 「近世佐渡における書籍を巡るネットワークと医師・海運業者—柴田収蔵日記を中心として—」速水健児『国史談話会雑誌』(47)
- 「『診病奇伎』中の「無名氏」は島浦和田一である (抄)」大浦広勝『日本医史学雑誌』52(1) 152-153
- 「歴史に残る斯界の人々 其の四十三 清水千里」『医道の日本』65(7) 口絵
- 「古典あれこれ シャンボウとアレルギー」小川浩司『JOHNS』22(7) 1014-1018
- 「追悼 杉立義一先生」田中祐尾, 他『医譚』(101) 46-67
- 「杉立義一先生追悼文」北小路博央, 他『啓迪』(24) 1-28
- 「杉立義一先生を偲んで」奥沢康正『日本医史学雑誌』52(2) 321-323
- 「眼で見る神経内科 Adolf Struempell と Parkinson 病」田代邦雄『神経内科』65(4) 411-413
- 「スロイスの講義から 植物学講義とオーデマン植物図鑑の関係」板垣英治『北陸医史』27(1) 80-85
- 「Hans Sloane と 17・18世紀イングランドのアポセカリ (抄)」柳澤波香『薬史学雑誌』41(2) 97
- 「先達医家の肖像 128 Hans Selye (1907-1982)」酒井シヅ『MEDICAL DIGEST』(404) 表3
- 「歴史に残る斯界の人々 其の四十七 芹澤勝助」『医道の日本』65(12) 口絵
- 「先達医家の肖像 129 ソークワクチンの開発者 Jonas Salk (1914-1995)」酒井シヅ『MEDICAL DIGEST』(405) 表3
- 「栗山町と高木兼寛 渡辺梯三『北辰』(7) 11-18
- 「高木兼寛: 病気を診ずして病人を診よ (抄)」村田長芳『日本大腸肛門病学会雑誌』59(5) 293-294
- 「高木兼寛の健康教育観に関する研究 (第一報) —臨時教育会議での小学校教育改善に関する発言

- 内容から一（抄）」蝦名總子，平尾真智子，芳賀佐和子『日本医史学雑誌』52(1)62-63
- 「歴史に残る斯界の人々 其の三十九 高木健太郎」『医道の日本』65(3)口絵
- 「高山紀斎の生涯（その2 高山紀斎の履歴書から）（抄）」水川秀海『日本歯科医史学会々誌』26(4)203
- 「竹川竹斎と軽粉雑記（抄）」西井易穂『日本医史学雑誌』52(1)136-137
- 「歴史に残る斯界の人々 其の三十七 武田武雄」『医道の日本』65(1)口絵
- 「田中信吾先生経歴関連資料」赤祖父一知，今井美和『北陸医史』27(1)65-74
- 「田原養伯の往診用薬箱について（抄）」中村輝子，遠藤次郎，ミヒェル・ヴォルフガング，奥村武『日本医史学雑誌』52(1)134-135
- 「歴史に残る斯界の人々 其の三十八 田山基隆」『医道の日本』65(2)口絵
- 「田原淳と心臓刺激伝導系—原著からみる知られざる事実—（抄）」島田達生『日本医史学雑誌』52(1)32-33
- 「丹波敬三と衛生・裁判化学（抄）」末廣雅也，川瀬清『薬史学雑誌』41(2)90
- 「近松門左衛門の死因」杉浦守邦『啓迪』(24)50-56
- 「レイモンドチャンドラーにおける歯科に関連した記述について（抄）」小野崎純『日本歯科医史学会々誌』26(4)231
- 「また鉄腕アトム氏との出会い（7）-（8）」深瀬泰旦『川崎市医師会報』(285-286)134-141, 88-99
- 「DreyfusのMelancholieについて（抄）」古茶大樹，濱田秀伯『精神医学史研究』10(1)52
- 「エッセンス ナイチンゲール伝」平尾真智子『看護学生』54(2)6-9
- 「慈恵の看護とナイチンゲール」平尾真智子『看護教育』47(11)1034-1035
- 「フローレンス・ナイチンゲールの看護思想の形成 医学史における「換気の重視」の意味」武見綾子，友松憲彦『日本看護学会論文集』看護総合(37回)21-23
- 「日本薬学の父 長井長義を知る」渋谷雅之『大塚薬報』(619)4-15
- 「生活療法の開祖 二宮尊徳」臺 弘『精神科治療学』21(11)1249-1255
- 「「野口英世」と済生学舎で同級であった石川東悦医師の残した写真と試験問題について（抄）」志村俊郎，唐沢信安，石川康悦，寺本明『日本医史学雑誌』52(1)82-83
- 「野口英世の肖像を用いた新紙幣の研究」森山徳長『日本歯科医史学会々誌』26(4)249-257
- 「野口英世の横浜海港検疫所赴任の時期を特定—“ペスト騒動”の前日だった—」中村澄夫『日本医史学雑誌』52(3)465-467
- 「ウイリアムハーヴェイ再考（抄）」栗本宗治，ロブスン・ゴードン『医譚』(101)68-69
- 「【食と健康 自然療法の智慧と最新事情】偉人たちの食養生 S.ハーネマン（ホメオパシー医療の創始者）自らも守り人にもすすめたその良き生活習慣の紹介」大槻真一郎『aromatopia』15(5)24-25
- 「晩年の橋本宗吉について（抄）」古西義磨『医譚』(101)88-89
- 「古典あれこれ 幻となったノーベル賞候補者長谷川高敏教授」松永喬『JOHNS』22(8)1138-1142
- 「秦佐八郎再考 岡山大学の前身校出身の化学療法薬開発の創始者」石田純郎『新見公立短期大学紀要』27, 17-20
- 「医聖・華岡青洲 全身麻酔の創始者（抄）」高橋均『日本外傷学会雑誌』20(2)129
- 「先人はかく語りき vol.4 華岡青洲（1760-1835）」酒井シヅ『武田薬報』(444)表3
- 「林直助と恙虫病」林弘太郎『現代医学』54(1)153-164
- 「乳癌浸潤にリンパ管の重要性を最初に指摘した William Sampson Handley（1872-1962）」酒井シヅ『Mamma』(53)表2
- 「乳癌のホルモン療法をはじめて行った Sir George Thomas Beatson（1848-1933）」酒井シヅ『Mamma』(55)表2
- 「Von Dem Grau Bis Zum Bunt ヒトラー（8）」上野賢一『皮膚科の臨床』48(7)897-901
- 「【食と健康 自然療法の智慧と最新事情】「医学の父」ヒポクラテスの自然療法」大槻真一郎

- 『aromatopia』15(5)8-13
- 「歴史に残る斯界の人々 其の四十 兵頭正義」『医道の日本』65(4)口絵
- 「平井毓太郎教授と乳幼児の鉛毒性脳膜炎に関する史的考察」堀口俊一『労働科学』82(1)14-21
- 「平野重誠『養性訣』(一八三五)にみる実践的医療者の養生観(抄)」中村節子, 平尾真智子『日本医史学雑誌』52(1)120-121
- 「【医の倫理 ミニ事典】C・W・フーヘランドの『医戒』」杉本つとむ『日本医師会雑誌』134(12付録)12-13
- 「蕪村の歯に関する発句の研究(抄)」陶粟嫻『日本歯科医史学会々誌』26(4)225
- 「明治初期の日本医学に貢献した外国人 ドイツ医学採用とフルベッキ博士(抄)」我部正彦『柔道整復・接骨医学』14(3)153-154
- 「明治初期の日本医学に貢献した外国人(抄)」我部正彦『柔道整復・接骨医学』14(3)150
- 「古典あれこれ ヴェルチとアメリカ近代医学の夜明け」小川浩司『JOHNS』22(6)884-891
- 「ドイツ人医師ベルツ博士の足跡(抄)」大河原晃『柔道整復・接骨医学』14(3)155
- 「青い血のカルテ ヘンリー8世の不妊治療」早川智『産科と婦人科』73(1)128-131
- 「先人はかく語りき vol.6 シモーン・ド・ボーヴァール(1908-1986)」酒井シヅ『武田薬報』(446)表3
- 「明治初期の日本医学に貢献した外国人 長崎医学校のボードイン(抄)」中川敏郎『柔道整復・接骨医学』14(3)152
- 「星一の受領したドイツからの褒賞の品々(抄)」三澤美和『薬史学雑誌』41(2)92
- 「明治初期の日本医学に貢献した外国人 ポンベの遺した言葉と弟子たち(抄)」横田良介『柔道整復・接骨医学』14(3)151
- 「『天然の奇士』前野良沢(抄)」鳥井裕美子『日本医史学雑誌』52(1)24-25
- 「京都大学整形外科学教室初代教授 松岡道治の事績, 業績—第二報 松岡道治の学術論文」廣谷速人『日本医史学雑誌』52(3)361-394
- 「追悼 松田武先生」水野洋『医学史研究2004-2005』(86)36-37
- 「松本順と北海道(III) —北海道訪問とその足取り—」宮下舜一『北辰』(7)1-10
- 「松本良順宛の書簡から」増田光明『日本歴史』(699)
- 「麻醉科学史の新研究 crush syndrome を世界で最初に報告した皆見省吾」松木明知『麻醉』55(2)222-228
- 「医者も知りたい医者のはなし 江戸初期の医師向井元升(1609-77) 去来の父・益軒の師 江戸初期西洋医学と向井元升 そして去来の話」木村専太郎『臨床整形外科』41(7)792-795
- 「医者も知りたい医者のはなし 江戸初期の医師向井元升(1609-77) 去来の父・益軒の師 元升紹介と江戸初期医学について」木村専太郎『臨床整形外科』41(5)556-558
- 「向井元升と西洋医薬品について(抄)」W・ミヒェル『薬史学雑誌』41(2)89
- 「精神医学の先達・国際人向笠笠次(抄)」鈴木二郎『日本医史学雑誌』52(1)007-009
- 「本邦嚆矢の産院設立者 村松志保子の安生堂とその慈善事業(抄)」石原力, 原島早智子『日本医史学雑誌』52(1)58-59
- 「Willy Meyer (1858-1932) の乳ガン根治手術」酒井シヅ『Mamma』(52)表3
- 「古典あれこれ メチニコフと食細胞説—その1~2—」小川浩司『JOHNS』22(3-4)476-480, 618-623
- 「随想老年医学 メチニコフ 老年学の発達」小澤利男『Geriatric Medicine』44(1)101-104
- 「エーテル麻醉創始者の一人である W. T. G. Morton 救済のための寄付に関わる小冊子 “PROCEEDINGS IN BEHALT OF THE MORTON TESTIMONIAL” について(抄)」石橋肇, 渋谷敏, 谷津三雄『日本歯科医史学会々誌』26(4)213
- 「本居宣長の医療(抄)」堀竹潤『日本東洋医学雑誌』57(別冊)189
- 「鷗外・森林太郎のキャリアへの一考察」谷光太郎『研究紀要』(3-1)
- 「鷗外の考証・その発想法—「北條霞亭」の第二北遊・南帰をめぐる」小泉浩一郎『東海大学紀要文学部』(84)
- 「ドイツ留学中の森鷗外とザクセン軍団—ザクセ

- ン州立中央文書館の資料から一（抄）」武智秀夫『日本医史学雑誌』52(1)116-117
- 「森鷗外自身がまとめた略年表「自紀材料」から（上）」足立史談編集部『足立史談』(464)
- 「森田正馬を巡るウィーン解剖学の流れ 脳解剖学史との関連の中で 森田療法誕生の土壌と，森田正馬の生い立ち，及び関心事（その5）（抄）」澤野啓一『日本森田療法学会雑誌』17(1)66
- 「森祐晴と泊雲塾 飯塚修三『日本の眼科』77(12)1545-1546
- 「森林太郎（鷗外）の脚気事件と遺書（抄）」荒井保男『神奈川医学会雑誌』33(2)246-247
- 「山鹿素行の死因」杉浦守邦『医譚』(101)4-9
- 「山鹿素行の死因（抄）」杉浦守邦『医譚』(101)71-74
- 「古典あれこれ 内リンパ水腫にその名を残した山川強四郎先生」松永喬，佐野光仁『JOHNS』22(5)754-757
- 「科学者のふるさとを訪ねる② 世界初の人工瘻に成功した病理学者 山極勝三郎（1863-1930）長野県上田市」西條敏美『ミクロスコピア』23(3)200-202
- 「高野長英の友人・山田大門と天体望遠鏡」飯塚修三『日本の眼科』77(4)517-518
- 「先達医家の肖像125 近代泌尿器科学の父 Hugh Hampton Young（1870-1945）」酒井シヅ『MEDICAL DIGEST』(401)表3
- 「生体実験を拒否した生理学者横山正松（抄）」末永恵子『日本医史学雑誌』52(1)122-123
- 「「親試実験」考・その三（抄）」小曾戸明子『医譚』(101)83-84
- 「酸素を“確認し命名した”Lavoisierとその末裔」川上義和『THE LUNG — perspectives』14(1)86-91
- 「リスターは「傷を消毒」してではなく，「傷を外部環境から（侵入してくる細菌から）遮断」して感染を防止した！」佐藤裕『臨床外科』61(10)1390-1391
- 「【レントゲン週間特集】博士の残した足跡～W.C.レントゲン」森美加『東京放射線』53(12)30-32
- 「東金の老湖先生」石出猛史『千葉医学雑誌』82(1)15-23
- 「和田和代史先生を偲ぶ」奥沢康正『日本医史学雑誌』52(2)319-320
- 41 伝記（双）**
- 「尼子四郎と夏目漱石 斎藤晴恵『医学図書館』53(1)60-64
- 「北林貞道・杉田直樹・丸井清泰の共通点と相違点（抄）」澤野啓一『精神医学史研究』10(1)49
- 「木村兼葭堂と薩摩藩士林与一郎」林陸郎『国学院雑誌』(107-2)
- 「シーボルトと奥平昌高（抄）」石田純郎『日本医史学雑誌』52(1)26-27
- 「田代三喜と曲直瀬道三の医書にみられる『五輪砵』からの影響（抄）」遠藤次郎，中村輝子『日本東洋医学雑誌』57(別冊)193
- 「第4回田原アショフ・シンポジウム」須磨幸蔵『ミクロスコピア』23(1)23-24
- 「F・ナイチンゲールとL・トワイニングの社会活動とその接点（抄）」上坂良子『医譚』(101)75-76
- 「ドイツ領事ハーバーと星一」山 朝江，三澤美和『薬史学雑誌』41(2)70-76
- 「外国人から見た近代医日本の発展・ビゴーとベルツ」森晋一郎『歴史と地理』(595)
- 「中津藩医村上玄水と大江春塘—地方藩学者の条件と可能性について（抄）」ミヒェル・ヴォルフガング『日本医史学雑誌』52(1)28-29
- 42 伝染病史・防疫史・感染症史**
- 「日本におけるスペインかぜの精密分析」池田一夫，藤谷和正，灘岡陽子，神谷信行，広門雅子，柳川義勢『東京都健康安全研究センター年報』(56)369-374
- 「ハンセン病 ハンセン病療養所における患者解放運動について」太田明『日本皮膚科学会雑誌』116(13)1965-1967
- 「【インフルエンザ診療の新展開 パンデミックを視野に入れた戦略】次のパンデミックに向けて過去のパンデミックに学ぶ」河野吉彦，西村秀一『内科』98(5)848-853
- 「黒死病の本態」滝上正『日本医事新報』(4284)

- 83-85  
 「黒死病はペストか—黒死病の謎(抄)」滝上正『神奈川医学会雑誌』33(1)77
- 「占領期における急性感染症の発生推移(一九四六年—一九四八年)(抄)」田中誠二, 杉田聡, 森山敬子, 丸井英二『日本医史学雑誌』52(1)66-67
- 「Spring Waveの歴史」西村秀一『インフルエンザ』7(1)27-35
- 「コプリック斑のわが国への受容—麻疹の歴史の断面」深瀬泰旦『神奈川小児科医会ニュース』(14)4-5
- 「細菌学・感染症学における先人の業績 稲田龍吉ら ワイル病病原体(黄疸出血性レプトスピラ)の発見」光山正雄『化学療法の領域』22(10)1593-1595
- 「ハンセン病と医学 隔離政策の提唱とその背景」森修一, 石井則久『日本ハンセン病学会雑誌』75(1)3-22
- 「我が国における医真菌学の歩み 概説(抄)」山口英世『日本医真菌学会雑誌』47(Suppl.1)43
- 43 東洋医学史・伝統医学史**
- 「目でみる漢方史料館(212) 和田東郭の座像と墓」天野陽介, 小曾戸洋『漢方の臨床』53(4)590-592
- 「目でみる漢方史料館(213) 荻野元凱の墓」天野陽介, 小曾戸洋『漢方の臨床』53(5)758-760
- 「医学古典における「大指間」の意味について(抄)」天野陽介, 宮川浩也, 小曾戸洋, 石野尚吾『日本医史学雑誌』52(1)158-159
- 「漢代の「塞玉」について(抄)」猪飼祥夫『医譚』(101)69-71
- 「『傷寒論』『金匱要略』における度量衡の考察」和泉正一郎, 江部洋一郎『漢方の臨床』53(4)599-607
- 「目でみる漢方史料館(210) 奥田謙蔵先生遺愛の百味筆筭」伊藤敏雄『漢方の臨床』53(2)246-248
- 「目でみる漢方史料館(210) 奥田謙蔵先生遺愛の百味筆筭(解説)」伊藤敏雄『漢方の臨床』53(2)329-330
- 「桑木灸について(抄)」上田善信『日本医史学雑誌』52(1)98-99
- 「経穴位置決定の基準 例えば大椎について 大椎の位置に関する歴史的経緯」浦山久嗣『全日本鍼灸学会雑誌』56(5)728-730
- 「経穴位置決定の基準 例えば大椎について 大椎の位置に関する歴史的経緯(抄)」浦山久嗣『全日本鍼灸学会雑誌』56(3)360
- 「【中医体質論】歴代の医家による中医体質理論」王東坡『中医臨床』27(3)325-328
- 「業界にまつわるあんな疑問こんな疑問 鍼を刺入するとき鍼管を使うのはなぜ?」大浦慈観『医道の日本』65(7)127-131
- 「大塚敬節による『類聚方広義』解釈(49-51)」大塚賢治, 渡辺洋井『漢方の臨床』53(3-4,6)501-508, 643-650, 1022-1034
- 「『神農本草経』収載生薬の別名」大塚信子, 中村成代, 小根山隆祥『漢方の臨床』53(4)689-695
- 「中医学と漢方 中医学と漢方の成り立ち」大野修嗣『伝統医学』9(4)9-11
- 「占領期の婦人雑誌に掲載された灸に関する記事「ブランゲ文庫」より見る(抄)」奥津貴子『日本医史学雑誌』52(1)96-97
- 「中医心理学 中医心理学を現代の臨床に活かす意義」小野正弘『中医臨床』27(3)358-364
- 「『医籍考』辨正『四庫全書総目録』医家類提要考」郭秀梅『敦煌文芸出版社四庫全書研究文集(甘肅省)』113-120
- 「江戸漢方醫界之碩學山田業廣」郭秀梅『古今論衡雑誌(台湾)』2006.6(代十四期)71-96
- 「日中医学交流史24. 中日両国における温泉療法」郭秀梅『日中医学』21(1)22-24
- 「日中医学交流史27. 医学文献で尿療法を語る」郭秀梅『日中医学』21(4)26-28
- 「業界にまつわるあんな疑問こんな疑問 検校って何?」香取俊光『医道の日本』65(5)153-155
- 「目でみる漢方史料館(220) 遠田澄庵の写真・肖像」川邊雄大, 町泉寿郎『漢方の臨床』53(12)2024-2026
- 「日本の鍼灸療法(英語)(Acupuncture and Moxibustion in Japan)」木下滋『臨床針灸』20(1)21-40
- 「『醫聖漢張仲景先生之碑』の白文について」木下勤『漢方の臨床』53(5)869-873
- 「韓国韓医学の現代史と現状(上・中・下)」金

- 英信『漢方の臨床』53(8-10)1289-1206, 1609-1619-1627, 1775-1786
- 「【女性医療と漢方医療】漢方医学の歴史と女性医療」小曾戸洋『産婦人科治療』92(増刊)471-475
- 「古医書のはなし⑦ 黄帝内経素問」小曾戸洋『漢方と鍼』30(1)4
- 「古医書のはなし⑧ 黄帝内経靈枢」小曾戸洋『漢方と鍼』30(2)4
- 「古医書のはなし⑨ 皇帝内経太素」小曾戸洋『漢方と鍼』30(3)4
- 「古医書のはなし⑩ 黄帝内経明堂」小曾戸洋『漢方と鍼』30(4)5-6
- 「目でみる漢方史料館(209) 半井広明筆の三皇像」小曾戸洋『漢方の臨床』53(1)2-4
- 「目でみる漢方史料館(215) 湯本求真の旧蔵書」小曾戸洋『漢方の臨床』53(7)1114-1116
- 「目でみる漢方史料館(216) 熊宗立の肖像と生没年」小曾戸洋『漢方の臨床』53(8)1282-1284
- 「目でみる漢方史料館(217) 古矢知白の肖像—新出一」小曾戸洋, 長野仁, 町泉寿郎『漢方の臨床』53(9)1458-1460
- 「目でみる漢方史料館(211) 曲直瀬養安院家の人々(3)」小曾戸洋, 町泉寿郎『漢方の臨床』53(3)406-408
- 「目でみる漢方史料館(214) 志賀潔と安西安周」小曾戸洋, 町泉寿郎『漢方の臨床』53(6)938-940
- 「目でみる漢方史料館(218) 『難経』の最善本出現」小曾戸洋, 宮川浩也『漢方の臨床』53(10)1660-1662
- 「宋板『傷寒論』との関わりから吉益東洞の医学思想を考える(上・下)」小高修司『漢方の臨床』53(3-4)529-537, 679-687
- 「陳士鐸『外経微言』(翻訳)(上・下)」小高修司『漢方の臨床』53(7-8)1225-1234, 1413-1423
- 「晋代から宋代における「七死脈」の成立(抄)」木場由衣登『日本医史学雑誌』52(1)106-107
- 「意釈『審視瑶函』(傳仁宇著)(13-22)」齊藤宗則, 孫基然, 黒木悟, 安井廣迪『漢方の臨床』53(1-6, 8-11)174-183, 361-364, 542-547, 711-715, 893-897, 1070-1072, 1405-1409, 1612-1618, 1761-1766, 1990-1993
- 「『病名彙解』所載の鍼灸(抄)」杉浦雄『日本医史学雑誌』52(1)72-73
- 「『金匱要略』平成新釈 果物菜穀禁忌 并治 第二十五(1-4)」杉山広重『漢方の臨床』53(4-7)696-703, 881-886, 1081-1086, 1235-1241
- 「『金匱要略』平成新釈 婦人産後病脈証 并治 第二十一」杉山広重『漢方の臨床』53(10)1752-1760
- 「『金匱要略』平成新釈 婦人妊娠病脈証 并治 第二十」杉山広重『漢方の臨床』53(9)1596-1604
- 「『小品方』の序文及び『傷寒論』の序文に関する“掘り下げ”について」杉山広重『漢方の臨床』53(12)2137-2140
- 「李朝正編著『備急総効方』中の『耆域』方について」杉山広重『漢方の臨床』53(8)1410-1412
- 「『古方派・後世派』と「古方・新方」(抄)」鈴木達彦, 遠藤次郎, 中村輝子『日本東洋医学雑誌』57(別冊)190
- 「療風(をさめぶり)」竹田真『北辰』(7)28-29
- 「我が国における伝統的健康論の歴史的動向と現代的意義(抄)」田邊信太郎『体力科学』55(5)541
- 「『史記』扁鵲倉公列伝における最古の鍼灸治療症例の解明(I-III)」多留淳文『漢方の臨床』53(2-4)235-242, 509-513, 664-670
- 「鍼灸内科学の歴史・現状と課題」多留淳文『全日本鍼灸学会雑誌』56(4)585-595
- 「山田業広著『金匱要略集注』訓読(31)」千葉古方漢方研究会『漢方の臨床』53(7)1218-1224
- 「『名家灸選』所収の救急の灸法(抄)」鶴田泰平『日本医史学雑誌』52(1)100-101
- 「日中医学交流史23 『医心方』から見た中国の損傷診療法」陶恵寧『日中医学』20(6)34-36
- 「日中医学交流史26 陳玄賛と日本整骨医学」陶恵寧『日中医学』21(3)26-29
- 「杉田成卿『濟生三方』と刺絡(抄)」友部和弘, 石野尚吾, 花輪壽彦『日本東洋医学雑誌』57(別冊)192
- 「目でみる漢方史料館(219) 法華寺浴室と『光明皇后大悲願図』」永井良樹『漢方の臨床』53(11)1844-1847
- 「『脈経』中に見える脈状の相関関係(抄)」中川俊之『日本医史学雑誌』52(1)108-109
- 「『神農本草経(森立之本)』における「四氣五味」

- 中村成代, 平林正士, 小根山隆祥『漢方の臨床』53(1)153-162
- 「東洋医学見聞録 鼻出血の鍼灸治療」西田皓一『医道の日本』65(3)71-75
- 「からだと精神, 五臓六腑とところ」西原克成『伝統鍼灸』32(2)23-40
- 「操体 操体の歴史と変遷(1)-(2)」畠山裕美『手技療法』14(8-9)592-598, 674-680
- 「英国における伝統医学」早崎知幸『漢方と鍼』30(4)2
- 「鍼灸医学史における視力障害者の功績」松井繁『全日本鍼灸学会雑誌』56(4)596-604
- 「鍼灸医学史における視力障害者の功績(抄)」松井繁『全日本鍼灸学会雑誌』56(3)338
- 「新解『杉山流三部書』講(8) 脈・腹証と補瀉論 相火と三焦の事(『医学節用集』より)その2」松本俊吾, 鍼灸経絡研究会『医道の日本』65(5)148-152
- 「現代中医鍼灸学の形成に与えた日本の貢献」真柳誠『全日本鍼灸学会雑誌』56(4)605-615
- 「台湾訪書志I 故宮博物院所蔵の医薬古典籍(二十七-三十五)」真柳誠『漢方の臨床』53(2-3, 5-8, 10-12)339-345, 557-563, 887-893, 1073-1080, 1249-1255, 1425-1429, 1791-1798, 2000-2006, 2169-2175
- 「あん摩マッサージ指圧師, はり師, きゅう師学校養成施設の変遷と現状 特にその創立期に着目して」箕輪政博, 形井秀一『全日本鍼灸学会雑誌』56(4)644-655
- 「鍼灸教育と古典 戦前の教科書を中心に(抄)」箕輪政博, 形井秀一『伝統鍼灸』33(1)37-38
- 「中国における内障に対する外科的治療について(抄)」宮川隆弘『日本医史学雑誌』52(1)102-103
- 「漢方あらかると 梅花無尽蔵に学(その一)」村木毅『漢方療法』9(11)802-808
- 「日本漢方諸学派の流れ(抄)」安井廣迪『日本東洋医学雑誌』57(別冊)77
- 「資料でたどる日本鍼灸史[47-50] 一 小阪元祐の経穴書③-⑥-」山本徳子『医道の日本』65(2-5)201-205, 227-229, 196-198, 158-160
- 「資料でたどる日本鍼灸史[51-52] 一 原南陽の経穴書①-②-」山本徳子『医道の日本』65(6-7)

159-161, 170-172

- 「中国鍼灸史ものがたり 鍼治療されていた漢の武帝」山本徳子『医道の日本』65(10)150-152
- 「和訓『橘黄医談』(尾台榕堂著)(1-9)」横田観風『漢方の臨床』53(3-7, 9-12)538-541, 704-710, 874-880, 1087-1091, 1242-1248, 1605-1611, 1744-1751, 1983-1989, 2141-2147
- 「中国伝統医学と道教(第二十六回) 陰騭文(抄)」吉元昭治『日本医史学雑誌』52(1)138-139
- 「日中医学交流史25. 高齢化社会に養生を考える一若くみずみずしい輝きをいつまでも」魯紅梅『日中医学』21(2)20-23

#### 44 内科史

- 「呼吸器病学の歴史 日本から世界への貢献 夏型過敏性肺炎と原因抗原(抄)」安藤正幸『日本呼吸器学会雑誌』44(増刊)13
- 「世界からみた日本の肝臓病学の位置付け 過去50年の流れと今後の方向」谷川久一『日本医師会雑誌』135(4)853-857
- 「呼吸器病学の歴史 日本から世界への貢献 びまん性汎細気管支炎 疾患概念の提唱と確立(抄)」谷本精一『日本呼吸器学会雑誌』44(増刊)11
- 「呼吸器病学の歴史 日本から世界への貢献 気管支鏡の開発とその前夜(抄)」坪井栄孝『日本呼吸器学会雑誌』44(増刊)12
- 「赤血球膜に秘められた歴史の小箱 赤血球膜研究小史 1851年から今日まで」八幡義人『血液フロンティア』16(5)764-775

#### 45 皮膚科史

- 「日本人皮膚科学の歴史 過去, 現在, 未来(A history of Japanese dermatology: Past, present and future)(英語)」Nishikawa Takeji『The Journal of Dermatology』33(11)741-744

#### 46 泌尿器科史

- 「泌尿器学ことはじめ 前立腺肥大症の手術(1)-(4)」折笠精一『泌尿器外科』19(4-7)517-522, 627-631, 745-749, 851-855
- 「泌尿器学ことはじめ 前立腺肥大症の手術(5)-



(8) 折笠精一『泌尿器外科』19(9-12) 1103-1107, 1205-1209, 1323-1326, 1441-1445

「『ヒポクラテス全集』における治療に関する記述，外科治療，とくに尿路結石の治療について」斎藤博『日本泌尿器科学会雑誌』97(3) 551-560

#### 47 病院史

「弘治3(1557)年アルメイダが設立した府内(大分)病院とそこで働いた日本人調剤師パウロについて」奥田潤『薬史学雑誌』41(2) 77-80

「関東大震災における佛蘭西寄贈病院(抄)」小林晶『日本医史学雑誌』52(1) 84-85

「東北慈恵院について」近藤等『精神医学史研究』10(2) 122-131

「東北慈恵院について(抄)」近藤等『精神医学史研究』10(1) 47

「山形県立中央病院外史 山形県立中央病院の存続に立ち上がった医局の働き」鈴木常正，堀米哲，寺嶋誠一『山形県立病院医学雑誌』40(2) 58-72

「日本赤十字社と名古屋第二赤十字病院薬剤部の歴史(抄)」徳井健志，小林一信『薬史学雑誌』41(2) 101

「農村医療にかけた佐久病院の60年」夏川周介『日本農村医学会雑誌』54(6) 838-844

「労災病院と薬剤部の変遷(抄)」藤井広久『薬史学雑誌』41(2) 100

「病院史話 ブッシュ宣教医師の働き」船戸正久，鈴木康子，辻本嘉助『淀川キリスト教病院学術雑誌』23, 31-33

「エリザベス・ガレット・アンダーソン病院の設立について(抄)」柳澤波香『日本医史学雑誌』52(1) 86-87

#### 50 風俗史

「いれずみ物語1 谷崎の『刺青』—皮膚から肌への一瞬—」小野友道『大塚薬報』(612) 65-67

「いれずみ物語2 病理学者ウイルヒョウといれずみ—センチネルリンパ節概念の元祖—」小野友道『大塚薬報』(613) 65-67

「いれずみ物語3 桃のいれずみ—霊力，性そして龍—」小野友道『大塚薬報』(614) 61-63

「いれずみ物語4 イ草作業のつらさと“そらうでいれずみ”」小野友道『大塚薬報』(615) 63-65

「いれずみ物語5 ヘナによるいれずみ」小野友道『大塚薬報』(616) 67-69

「いれずみ物語6 南嶋の女のいれずみ—針突—」小野友道『大塚薬報』(617) 63-65

「いれずみ物語7 入れぼくろ客と遊女の駆け引き—心中立—」小野友道『大塚薬報』(618) 61-63

「いれずみ物語8 背中のにれずみ—五社英雄の決意—」小野友道『大塚薬報』(619) 65-67

「いれずみ物語9 細川藩の除墨帳—社会復帰のための施策を取り入れた『刑法草書』—」小野友道『大塚薬報』(620) 67-69

「いれずみ物語10 ニコラス皇太子のいれずみ—両腕に龍の彫り物—」小野友道『大塚薬報』(621) 65-67

#### 51 仏教医学史

「イエスの治療と釈迦の治療(抄)」杉田暉道『日本医史学雑誌』52(3) 468-469

「死生観の歴史的観察(抄)」杉田暉道『日本医史学雑誌』52(1) 128-129

「インド伝統医学書『チャラカ・サンヒター』における病理論—『チャラカ・サンヒター』第二篇第一章第一~十五節訳解—」山下勤『日本医史学雑誌』52(3) 395-424

#### 53 放射線医学史

「臨床放射線医学の過去，現在，未来 私の経験と私見を交えて」石橋忠司『東北大学医学部保健学科紀要』15(1) 1-8

「臨牀放射線診断学の過去，現在，未来(抄)」石橋忠司『東北大学医学部保健学科紀要』15(1) 74-75

「ラジウム放射線治療」酒井シヅ『Mamma』(54) 表2

「口腔がん治療における放射線医学の役割 1954年来の日本における歴史的個人的回顧と明日への志向」清水正嗣『歯科放射線』46(4) 155-163

#### 54 本草学史・博物学史

「『草木図説』の構造—ケンペル，ツェンベリー，

シーボルトおよび伊藤圭介の影響― 遠藤正治『悠斎研究会だより』(109)2-8  
 『草木図説』の出版から『新訂草木図説』の成立 I 幸田正孝『悠斎研究会だより』(110)2-7  
 「飯沼悠斎『草木図説』のスマレータチスマレを例に― 山田直毅, 河村典久, 中井秀樹『悠斎研究会だより』(108)2-7

## 55 麻酔学史

「全身麻酔薬の変遷」小田切徹太郎『日本医事新報』(4307)95-96  
 「もはや全身麻酔に笑気麻酔は不要か 笑気使用中止後17年を経過して」坂井哲博『日本臨床麻酔学会誌』26(7)671-673  
 「麻酔科学史の変遷(抄)」塩原仁子, 安本和正, 木村武彦『日本東洋医学雑誌』57(別冊)194  
 「日本における小児麻酔の歴史」鈴木玄一『日本小児麻酔学会誌』12(1)89-94  
 「華岡流の麻酔法はなぜ幕末に急速に衰退したのか(抄)」松木明知『日本医史学雑誌』52(1)40-41  
 「産科麻酔の歴史についての個人的感想」森島久代『日本臨床麻酔学会誌』26(3)321-331  
 「麻酔科医の臨床ノート 産科麻酔の進歩」森脇克行『からだの科学』(249)120-121

## 57 薬学史

「ドイツ薬事博物館探訪① ハイデルベルク城内のドイツ薬事博物館」Elisabeth Huwer(中村典子訳)『大塚薬報』(612)58-60  
 「ドイツ薬事博物館探訪② 医療と薬局の歴史の概要」Elisabeth Huwer(中村典子訳)『大塚薬報』(613)58-60  
 「ドイツ薬事博物館探訪③ ドイツ薬剤師教育の変遷」Elisabeth Huwer(中村典子訳)『大塚薬報』(614)56-58  
 「ドイツ薬事博物館探訪④ 薬局調剤室」Elisabeth Huwer(中村典子訳)『大塚薬報』(615)56-58  
 「ドイツ薬事博物館探訪⑤ 薬の材料と薬草の部屋」Elisabeth Huwer(中村典子訳)『大塚薬報』(616)62-64  
 「ドイツ薬事博物館探訪⑥ 薬局実験室」Elisabeth

Huwer(中村典子訳)『大塚薬報』(617)56-58  
 「ドイツ薬事博物館探訪⑦ マテリア・メディカー1 古代ギリシャ・ローマ時代(紀元前4世紀)から18世紀までの薬」Elisabeth Huwer(中村典子訳)『大塚薬報』(618)54-56  
 「ドイツ薬事博物館探訪⑧ マテリア・メディカー2 19世紀から今日までの薬の発展の道のり」Elisabeth Huwer(中村典子訳)『大塚薬報』(619)60-62  
 「ドイツ薬事博物館探訪⑨ “苦い薬”を飲みやすくする方法とその変遷」Elisabeth Huwer(中村典子訳)『大塚薬報』(620)60-62  
 「ドイツ薬事博物館探訪⑩ ドイツの薬局の名前とそのシンボル<ユニコーン, ライオン, 鹿……>」Elisabeth Huwer(中村典子訳)『大塚薬報』(621)60-62  
 「韓国のくすり博物館・医学史博物館の紹介(抄)」石田純郎『薬史学雑誌』41(2)96  
 「続「楽しい薬理学」麻酔薬の発見 クロロホルムの発見と伝来」岡部進『薬局』57(1)113-117  
 「続「楽しい薬理学」局所麻酔薬ココインの発見 ソロモン王の洞窟」岡部進『薬局』57(2)326-329  
 「続「楽しい薬理学」局所麻酔薬ココインの発見 ヒヨスと乳香」岡部進『薬局』57(4)2055-2059  
 「続「楽しい薬理学」抗凝固薬ワルファリンの発見 牛物語」岡部進『薬局』57(6)2369-2373  
 「続「楽しい薬理学」抗凝固薬ワルファリンの発見 ムラサキウマゴヤシとビタミンK」岡部進『薬局』57(7)2539-2544  
 「続「楽しい薬理学」抗凝固薬ワルファリンの発見 抗凝固薬ヘパリンの発見」岡部進『薬局』57(8)2690-2694  
 「続「楽しい薬理学」抗凝固薬ワルファリンの発見 マクリーンの遠い旅」岡部進『薬局』57(9)2839-2843  
 「続「楽しい薬理学」抗マラリア薬の発見 「東京ローズ」は誰?」岡部進『薬局』57(10)3009-3014  
 「続「楽しい薬理学」抗マラリア薬の発見 キニーネ, コカインの抗不整脈作用」岡部進『薬局』57(11)3167-3171  
 「戦後日本の薬学運動史(2)(抄)」川瀬清『薬史学

- 雑誌』41(2)93
- 「天保十五年「諸方御持参薬法控」の紹介(1) 鬼頭康之『市史研究ながの』(13)
- 「適々齋薬室膠柱方について一村上医家史料館蔵品を中心に―(抄)」古西義磨『日本医史学雑誌』52(1)130-131
- 「ドラッグストアの歴史に関する一考察(抄)」佐藤知樹，串田一樹『薬史学雑誌』41(2)95
- 「ウルソデキシコール酸(UDCA)の発見(抄)」佐分利保雄『神奈川医学会雑誌』33(1)76-77
- 「16世紀イングランドにおける薬の文化―W. Harrisonの『イングランドの描写』に見られる電脳的薬物観とW. Shakespeareの『ロメオとジュリエット』の薬種屋―」竹内典子『明治薬科大学研究紀要』(36)77-96
- 「フランス革命と薬の専売―薬の自由販売は否とされた―(抄)」竹中祐典『薬史学雑誌』41(2)99
- 「ペニシリンの生い立ちを探る ペニシリン生産菌の発見」中島祥吉『PHARM TECH JAPAN』22(1)65-69
- 「ペニシリンの生い立ちを探る フロリーとチェーンの登場とリゾチーム作用機作の解明」中島祥吉『PHARM TECH JAPAN』22(2)259-262
- 「ペニシリンの生い立ちを探る フロリーらによるペニシリンの開発(その1)」中島祥吉『PHARM TECH JAPAN』22(3)451-454
- 「ペニシリンの生い立ちを探る フロリーらによるペニシリンの開発 イギリスでの初めての臨床試験」中島祥吉『PHARM TECH JAPAN』22(4)637-641
- 「ペニシリンの生い立ちを探る アメリカでの検討状況」中島祥吉『PHARM TECH JAPAN』22(6)985-988
- 「ペニシリンの生い立ちを探る フロリーのアメリカ訪問とアメリカでの開発状況」中島祥吉『PHARM TECH JAPAN』22(7)1325-1328
- 「ペニシリンの生い立ちを探る 合成ペニシリンの開発 チェインのその後」中島祥吉『PHARM TECH JAPAN』22(8)1533-1537
- 「杭州の薬学史巡り」羽生和子『医譚』(101)10-13
- 「宝暦五，六年における輸入唐薬の流通―長崎から大坂，さらに江戸へ―(抄)」羽生和子『薬史学雑誌』41(2)88
- 「江戸時代における輸入漢薬の流通について―江戸送り漢薬八品を中心に―(抄)」羽生和子『日本医史学雑誌』52(1)132-133
- 「秋田藩，富山売薬を排除」半田和彦『秋田史学』(52)
- 「古代からの薬 アジア・ヨーロッパ」本多義昭『Medical Pharmacy』40(6)316
- 「くすりとシルクロード」(第16回研究会講演録)本多義治『杏雨』(9)57-94
- 「安土桃山時代における代用人蔘」松岡尚則，山下幸一，村崎徹『日本医史学雑誌』52(3)349-360
- 「和漢薬の原植物と隔離分布，東アジアと北米」宮下三郎『杏雨』(9)99-150
- 「ビタミン発見史(物語) ビタミンB1研究史 チアミナーゼ(アノイリナーゼ)，易吸収性チアミン誘導体，ウェルニッケ脳症」安田和人『Medical Science Digest』32(4)130-132
- 「ビタミン発見史(物語) ビタミンC研究史」安田和人『Medical Science Digest』32(11)468-470
- 「ビタミン発見史(物語) ビタミン発見史(物語)」安田和人，脂溶性ビタミン研究委員会『Medical Science Digest』32(2)50-52
- 「日本薬剤師会が薬学教育改革に果たした役割と限界(抄)」山川浩司『薬史学雑誌』41(2)94
- 「仏教医学に見られた薬物の変遷(1)―アールヴェーダから正倉院まで―」山田光男『薬史学雑誌』41(2)81-85
- 「徳川家康所持の香と薬を中心に―(抄)」山本泰一『薬史学雑誌』41(2)87
- 「東京薬学新誌に関する考察(II)―薬学雑誌ほか明治初年の資料から窺われる当時の薬学の状況―(抄)」吉沢逸雄『薬史学雑誌』41(2)91

## 58 蘭学史

- 「大坂町人社会と蘭学(抄)」浅井允晶『医譚』(101)86-88
- 「整形外科と蘭学 大江雲澤と薬湯」川島真人『臨床整形外科』41(8)912-913
- 「整形外科と蘭学 リーフデ号と三浦按針」川島

- 眞人『臨床整形外科』41(3)268-271
- 「中津藩蘭学とパイオニア精神—明治前後の中津医学史を中心にして—(抄)」川眞人『日本医史学雑誌』52(1)20-23
- 「究理堂資料に見られる“大阪の蘭学史”と関係すると思われる人々(抄)」小石秀夫『医譚』(101)85-86
- 「高野聖と出島—阿蘭陀屋敷制札をめぐる—」清水眞澄『洋学史研究』(23)
- 「古医方から蘭方・蘭学へ—江戸時代中期の医療の動き—」長与健夫『日本医史学雑誌』52(2)305-314
- 59 リハビリテーション関係史**
- 「理学療法における手技療法 徒手療法の歴史的背景と考え方」川口浩太郎『理療』36(2)64-69
- 「韓国の障害者福祉50年の評価と新たな挑戦」車興奉『リハビリテーション研究』(126)34-38
- 「筋伸張反射研究の歴史的展開とその意義(抄)」田中勳作『山形医学』24(2)65
- 「【リハビリテーション工学と福祉機器】総論 リハビリテーション工学の過去から現在まで 福祉機器の開発」松尾清美『リハビリテーションmook』(15)19-27
- 「東洋医学と西洋医学を融和した総合リハビリテーションについて」松本和久, 木村篤史, 伊藤譲『東洋医学』12(3)40-52
- 「【小児のリハビリテーション】総論 小児リハビリテーションにおける理学療法の変遷と概要」宮崎泰『小児看護』29(8)975-979
- 「リハビリテーション医学の進歩と実践 温故知新」宮野佐人『リハビリテーション医学』43(9)579-584
- 「作業療法士職の職業形成・専門化過程の研究—作業療法士身分法制定以前の精神科領域従事者の取り組み及び理念を中心として—」柳田純子『日本医史学雑誌』52(2)165-198
- 「RAのリハビリテーションの20年」渡部一郎『日本RAのリハビリ研究会史』(20)1-5
- 臨床検査学伝習」相川忠臣, 酒井シヅ『日本検査血液学会雑誌』7(2)229-240
- 「【臨床検査史 国際的な流れとわが国の動向】神経機能検査」石山陽事『臨床検査』50(13)1695-1700
- 「【臨床検査史 国際的な流れとわが国の動向】尿・一般検査」伊藤機一『臨床検査』50(13)1681-1690
- 「【臨床検査史 国際的な流れとわが国の動向】腫瘍マーカー」今井浩三, 佐々木茂『臨床検査』50(13)1677-1680
- 「我国における臨床検査の小史(抄)」大竹繁雄『日本歯科医史学会々誌』26(4)195
- 「【臨床検査史 国際的な流れとわが国の動向】血液学」上平憲『臨床検査』50(13)1661-1665
- 「【臨床検査史 国際的な流れとわが国の動向】血漿蛋白質検査」河合忠『臨床検査』50(13)1673-1676
- 「【臨床検査史 国際的な流れとわが国の動向】免疫学」菊地浩吉, 下澤久美子, 水江由佳『臨床検査』50(13)1667-1672
- 「【臨床検査史 国際的な流れとわが国の動向】細胞診検査」坂本穆彦『臨床検査』50(13)1626-1630
- 「【臨床検査史 国際的な流れとわが国の動向】臨床検査の歩み」菅野剛史『臨床検査』50(13)1607-1611
- 「【臨床検査史 国際的な流れとわが国の動向】生化学検査 臨床酵素学」高木康『臨床検査』50(13)1637-1642
- 「【臨床検査史 国際的な流れとわが国の動向】生理機能検査に基づく心機能検査」竹中克, 坂本二哉『臨床検査』50(13)1691-1694
- 「【臨床検査史 国際的な流れとわが国の動向】その他の生化学検査」中山年正『臨床検査』50(13)1647-1655
- 「【臨床検査史 国際的な流れとわが国の動向】病理検査の歴史」水口國雄『臨床検査』50(13)1613-1625
- 「【臨床検査史 国際的な流れとわが国の動向】内分泌検査」宮井潔『臨床検査』50(13)1656-1660
- 「【臨床検査史 国際的な流れとわが国の動向】生

## 60 検査

「ポンペ・ファン・メールデルフォールトの近代

化学検査 臨床用分析装置の自動化」保田和雄，三巻弘，今井恭子『臨床検査』50(13)1643-1646  
 「【ここまで進んだ内視鏡診断と治療】内視鏡検査の過去・現在・未来」芳野純治『臨床と研究』83(6)787-791

## 61 その他

「オリンピックにおけるドーピングの歴史（パート1 1896-1968）（A Historical Timeline of Doping in the Olympics (Part1 1896-1968)）（英語）」Kremenik Michael, Onodera Sho, Nagao Mitsushiro, Yuzuki Osamu, Yonetani Shozo『Kawasaki Journal of Medical Welfare』12(1)19-28  
 「(続)阿蘭陀から日本恋しや—長崎丸山遊女お文(ふみ)の手紙—」川島恂二『古河市医師会報』(36)13-21  
 「アメニティマップにみられる歴史的文化遺産の快適性(抄)」西巻明彦『日本歯科医史学会々誌』26(4)226  
 「矯正給食から窺える庶民日常食の史的観察(抄)」日野英子『神奈川医学会雑誌』33(1)77

## 62 中国語文献

「『本草図経』所引張仲景医書佚文考」梁永宣・王慶国『中華医史雑誌』36(1)3-6  
 「『武威漢代医簡』方薬臨床応用価値初探」姜良・劉承『中華医史雑誌』36(1)7-9  
 「從『衛生家産科備要』印鑒考察名家通藏」楊金萍・劉更生・王振国『中華医史雑誌』36(1)10-13  
 「集中医文献学家教育家臨床家于一身的張山雷」王英・盛增秀『中華医史雑誌』36(1)14-17  
 「民国時期中医医院類型研究」曹麗娟『中華医史雑誌』36(1)18-22  
 「從『中国科学技術史・医学卷』看李約瑟與席文医学史觀之差異」劉巍『中華医史雑誌』36(1)23-27  
 「古蘭—巴雷綜合徵の歴史和今天」李海峰・袁錦楣『中華医史雑誌』36(1)28-32  
 「20世紀後半葉米国高等医学教育改革歷程」張艷榮『中華医史雑誌』36(1)33-37  
 「建国初期中医進修的歴史成因及其影響」畢小

麗・李劍『中華医史雑誌』36(1)38-41  
 「章太炎在近代中医史上的地位及成就」段曉華『中華医史雑誌』36(1)42-45  
 「晚清広州女医群体」夏坤・趙静『中華医史雑誌』36(1)46-51  
 「近代重慶寛仁，仁済教会医院」陳媛『中華医史雑誌』36(1)52-54  
 「『嶺南瘟疫史』評介」靳士英『中華医史雑誌』36(1)55-56  
 「清代四川兩次霍乱嚴重流行」頼文・張涛『中華医史雑誌』36(1)13  
 「艾滋病病毒の発現者及優先権之爭」閔敏・王輝『中華医史雑誌』36(1)58  
 「旅英学者馬伯英教授學術報告会紀要」邱功『中華医史雑誌』36(1)61-62  
 「中華医学会医史学分会2005年學術年会紀要」張志斌『中華医史雑誌』36(1)63  
 「小小体温表」甄橙『中華医史雑誌』36(1)6  
 「医薬的標志—蛇杖の来歴」郝清華『中華医史雑誌』36(1)57-58  
 「第九屆全国中医医史文献學術研討会将在威海召開」中華中医薬学会医史文献分会『中華医史雑誌』36(1)32  
 「德国慕尼黑大学文樹德教授来北大作報告」陳琦『中華医史雑誌』36(1)37  
 「沈痛悼念著名医史学家似元翼教授」哈爾濱医科大学医史学教研室『中華医史雑誌』36(1)51  
 「英国倫敦大学医学史研究所庫克教授来北大作報告」陳琦『中華医史雑誌』36(1)56  
 「深切懷念著名中医学家謝海洲」中国中医科学院広安門医院『中華医史雑誌』36(1)59-60  
 「『傷寒論』『金匱要略』「搏」「搏」辨」錢超塵『中華医史雑誌』36(2)67-71  
 「『武威漢代医簡』與『傷寒雜病論』方薬淵源」張延昌・孫其斌・楊扶德等『中華医史雑誌』36(2)72-74  
 「『難經』の人体觀及解剖発現」楊仕哲『中華医史雑誌』36(2)75-78  
 「魏玉横臨床的主要特色」俞中元『中華医史雑誌』36(2)79-82  
 「「霍爾蒙古灸」考」宝音図・呼格吉樂巴図・包迎春『中華医史雑誌』36(2)83-86

- 「論先秦時期医学心理学思想」黃愛國・杜文東『中華医史雜誌』36(2)87-90
- 「支氣管鏡發展史」張捷・王長利『中華医史雜誌』36(2)96-99
- 「晉唐時期儒道佛对中医方剂学的影響」吳瀟湘『中華医史雜誌』36(2)100-103
- 「略述疫苗三次革命」寇毅『中華医史雜誌』36(2)104-108
- 「克隆技術的發展及其倫理学爭論」金東英『中華医史雜誌』36(2)109-113
- 「日本真柳誠教授報告會紀要」全世玉『中華医史雜誌』36(2)114-115
- 「漢字文化圈接納中医学的史学傾向(摘要)」真柳誠『中華医史雜誌』36(2)115
- 「馬繼興中医古代文献學術研究概要」万芳『中華医史雜誌』36(2)116-118
- 「英国医学博物館考察記」甄橙『中華医史雜誌』36(2)119-123
- 「評高文柱主編的『藥王千金方』」孟慶云『中華医史雜誌』36(2)124-126
- 「東三省防疫事務總管理處的設立日期」馬學博・金東英『中華医史雜誌』36(2)86
- 「清末民国間遼東名医高愈明」伊広謙『中華医史雜誌』36(2)108
- 「『眼科奇書』「外障是寒論」質疑」柴鍵『中華医史雜誌』36(2)123
- 「著名中医学家施奠邦」中国中医科学院『中華医史雜誌』36(2)127-128
- 「著名中医学家余桂清」中国中医科学院广安門医院『中華医史雜誌』36(2)128
- 「近代温州医学代表人物和維新思潮」劉時覺・陳克正・楊力人等『中華医史雜誌』36(2)91-95
- 「世界高血压聯盟(WHL)及其創立者」『中華医史雜誌』36(2)103
- 「護士及護士節的由来」『中華医史雜誌』36(2)82
- 「闌尾炎麦氏点及其發現者」『中華医史雜誌』36(2)74
- 「清代温病医案488例的舌象分析」梁嶸・李燕・王盛花等『中華医史雜誌』36(3)131-134
- 「『嶺南衛生方』作者考」左鵬『中華医史雜誌』36(3)135-136
- 「『傷寒論』『金匱要略方論』外仲景遺方考」米鸞『中華医史雜誌』36(3)137-141
- 「『諸病源候論』对宣導術的發揮」俞欣璋『中華医史雜誌』36(3)142-144
- 「嶺南名医易巨蓀『集思医案』之研究」許國敏・張橫柳『中華医史雜誌』36(3)145-147
- 「『温熱病指南集』版本考述」劉玉璋『中華医史雜誌』36(3)148-151
- 「秦漢時期臟腑辨証学說發展特点研究」楊雪梅・王桂蘭・李德杏等『中華医史雜誌』36(3)152-156
- 「胸痺概念的演變」宋建平『中華医史雜誌』36(3)157-161
- 「督脉俞穴考」張建斌・王玲玲『中華医史雜誌』36(3)162-165
- 「顛頤關節脱位口内復位法源流」石東平・袁冰『中華医史雜誌』36(3)166-168
- 「首位留学美英的医生黃寬」劉澤生『中華医史雜誌』36(3)169-172
- 「海南省医学教育50年」林書勇・林詩泉『中華医史雜誌』36(3)173-176
- 「王清任「方効論錯」原因初探」潘大為『中華医史雜誌』36(3)177-181
- 「中医黃疸禁忌史料」李董男・方曉陽『中華医史雜誌』36(3)182-185
- 「牙刷溯源」趙双戰『中華医史雜誌』36(3)186-189
- 「廖育群研究員報告會紀要」劉悅『中華医史雜誌』36(3)190
- 「兩漢医学史的重構(摘要)」廖育群『中華医史雜誌』36(3)191
- 「趙石麟『医学史志探論』評介」洪文旭『中華医史雜誌』36(3)192
- 「清創術的發展簡史」崔繼涛『中華医史雜誌』36(3)161
- 「間接測量血压法的發展」孫玲・趙全国『中華医史雜誌』36(3)168
- 「同仁堂創辦者與清太医院」任旭『中華医史雜誌』36(3)176
- 「胃癌畢氏手術及其創立者」崔艷『中華医史雜誌』36(3)151
- 「北医所存『人身図説』和『人身説概』的来源」程之范『中華医史雜誌』36(3)156
- 「鄭金生榮獲国际亚洲传统医学会2006年度 Basham 獎」白茅『中華医史雜誌』36(3)172

- 「繼往開來迎接医史学科更大發展」李經緯『中華医史雜誌』36(4)195-196
- 「中藥療効和炮制的外史研究」鄭金生『中華医史雜誌』36(4)197-200
- 「論『黄帝內經』對『說文解字』的影響」蘭鳳利『中華医史雜誌』36(4)201-205
- 「『聖濟總錄』乾隆本之版本狀況分析」王振國・楊金萍・何永等『中華医史雜誌』36(4)206-210
- 「『本草品彙精要』版本考察補遺」曹暉・劉玉萍『中華医史雜誌』36(4)211-214
- 「啟蒼山『疫癘家庭自療集』的學術成就探討」吳文清『中華医史雜誌』36(4)215-218
- 「20世紀30年代廣西醫療衛生事業述論」艾萍『中華医史雜誌』36(4)219-223
- 「腸梗阻診斷方法的歷史演變」呂云福・張欣欣『中華医史雜誌』36(4)224-226
- 「肝臟移植簡史」陳虹・臧運金・朱雄偉等『中華医史雜誌』36(4)227-230
- 「『經脉論』與『血脉論』孰是孰非」劉澄中『中華医史雜誌』36(4)231-238
- 「五行，八卦與四元素學說探析」曹東義『中華医史雜誌』36(4)239-242
- 「近代杭州中藥店堂鈎沈」朱德明『中華医史雜誌』36(4)243-245
- 「王燾官職考」宋珍民『中華医史雜誌』36(4)246-251
- 「經絡現代研究史上的偽科學事件」王振瑞『中華医史雜誌』36(4)210
- 「紀年中華医学学会医史学分会成立70周年座談會紀要」張志斌・農漢才『中華医史雜誌』36(4)252-253
- 「中華中医学学会第九屆中医医史文献學術研究會紀要」田思勝『中華医史雜誌』36(4)254
- 「口罩的來歷」楊大成・劉允俠『中華医史雜誌』36(4)226
- 「游蘇寧喜獲「韜奮出版新人獎」和中國科協先進工作者榮譽稱號」中華医学学会『中華医史雜誌』36(4)230
- 「首屆「社會文化視野下的中國疾病醫療史」國際學術研討會召開」余新忠『中華医史雜誌』36(4)255

## 64 歐文文獻

- ABRAHAM, J./DAVIS, C.: Testing Times: The Emergence of the Praxolol Disaster and its Challenge to British Drug Regulation in the Modern Period: *So. Hist. Med.*: 19(1)127-147
- ADAMS, A./SCHLICH, T.: Design for Control: Surgery, Science, and Space at the Royal Victoria Hospital, Montreal, 1893-1956: *Medical History*: 50(3)303-324
- BARNES, Emm: Captain Chemo and Mr Wiggly: Patient Information for Children with Cancer in the Late Twentieth Century: *So. Hist. Med.*: 19(3)501-519
- BERRIOS, G. E.: Classifying Madness: A Philosophical Examination of the Diagnostic and Statistical Manual of Mental Disorder: *So. Hist. Med.*: 19(1)153-155
- BLOM, Ida: Fighting Venereal Diseases: Scandinavian Legislation c. 1800 to c. 1950: *Medical History*: 50(2)209-234
- BORSAY, Anne: Difference and Identity: *So. Hist. Med.*: 19(3)549-550
- BUCKINGHAM, Jane: Patient Welfare vs. the Health of the Nation: Governmentality and Sterilisation of Leprosy Sufferers in Early Post-Colonial India: *So. Hist. Med.*: 19(3)483-499
- CANTOR, David: The Frustrations of Families: Henry Lynch, Heredity, and Cancer Control, 1962-1975: *Medical History*: 50(3)279-302
- CANTOR, David: Cancer, Quackery and the Vernacular Meanings of Hope in 1950s America: *Hist. Med. Allied Sci.*: 61(3)324-368
- CHAKRABARTI, Pratik: "Neither of meate nor drinke, but what the Doctor alloweth": Medicine amidst War and Commerce in Eighteenth-Century Madras: *Bull. Hist. Med.*: 80(1)1-38
- COELHO, P. R. P./MCGUIRE, R. A.: Racial Differences in Disease Susceptibilities: Intestinal Worm Infections in the Early Twentieth-Century American South: *So. Hist. Med.*: 19(3)461-482
- COLEBORNE, Catharine: Families, Patients and Emotions: Asylums for the Insane in Colonial Australia

- and New Zealand, c. 1880–1910: *So. Hist. Med.*: 19 (3) 425–442
- COMFORT, Nathaniel: “Polyhybrid Heterogeneous Bastards”: Promoting Medical Genetics in America in the 1930s and 1940s: *Hist. Med. Allied Sci.*: 61 (4) 415–455
- DAMOUSI, Joy: Freud’s Free Clinics: Psychoanalysis and Social Justice, 1918–1938: *So. Hist. Med.*: 19 (1) 157–158
- DAVIS, G./DAVIDSON, R.: “A Fifth Freedom” or “Hideous, Atheistic Expediency”? The Medical Community and Abortion Law Reform in Scotland, c. 1960–1975: *Medical History*: 50 (1) 29–48
- DENHAM, Michael: The Surveys of the Birmingham Chronic Sick Hospitals, 1948–1960s: *So. Hist. Med.*: 19 (2) 279–293
- DUFFIN, Jacalyn: Jodocus Lommius’s Little Golden Book and the History of Diagnostic Semeiology: *Hist. Med. Allied Sci.*: 61 (3) 249–287
- DWYER, Ellen: Psychiatry and Race during World War II: *Hist. Med. Allied Sci.*: 61 (2) 117–143
- DYCK, Erika: ‘Hitting Highs at Rock Bottom’: LSD Treatment for Alcoholism, 1950–1970: *So. Hist. Med.*: 19 (2) 313–329
- EARNER-BYRNE, Lindsey: Managing Motherhood: Negotiating a Maternity Service for Catholic Mothers in Dublin, 1930–1954: *So. Hist. Med.*: 19 (2) 261–277
- ELLIS, Robert: The Asylum, the Poor Law, and a Re-assessment of the Four-Shilling Grant: Admissions to the County Asylums of Yorkshire in the Nineteenth Century: *So. Hist. Med.*: 19 (1) 55–71
- ENGSTROM, Eric J.: A Historical Dictionary of Psychiatry: *So. Hist. Med.*: 19 (1) 149–150
- EYLER, John M.: De Kruijff’s Boast: Vaccine Trials and the Construction of a Virus: *Bull. Hist. Med.*: 80 (3) 409–438
- FERGUSON, A. H./WEAVER, L. T./NICOLSON, M.: The Glasgow Corporation Milk Depot 1904–1910 and its Role in Infant Welfare: An End or a Means?: *So. Hist. Med.*: 19 (3) 443–460
- FERGUSON, Angus H.: The Lasting Legacy of a Bigamous Duchess: The Benchmark Precedent for Medical Confidentiality: *So. Hist. Med.*: 19 (1) 37–53
- FINK-JENSEN, Morten: Medicine, Natural Philosophy, and the Influence of Melanchthon in Reformation Denmark and Norway: *Bull. Hist. Med.*: 80 (3) 439–464
- GILFOYLE, Daniel: Anthrax in South Africa: Economics, Experiment and the Mass Vaccination of Animals, c. 1910–1945: *Medical History*: 50 (4) 465–490
- GILFOYLE, Daniel: Veterinary Immunology as Colonial Science: Method and Quantification in the Investigation of Horsesickness in South Africa, c. 1905–1945: *Hist. Med. Allied Sci.*: 61 (1) 26–65
- GILLIS, Jonathan: The History of the Patient History since 1850: *Bull. Hist. Med.*: 80 (3) 490–512
- GORSKY, Martin: The Gloucestershire Extension of Medical Services Scheme: An Experiment in the Integration of Health Services in Britain before the NHS: *Medical History*: 50 (4) 491–512
- GREEN, Monica H.: Disability in Medieval Europe: Physical Impairment in the High Middle Ages, c. 1100–c. 1400: *So. Hist. Med.*: 19 (3) 539–540
- GRONIM, Sara S.: Imagining Inoculation: Smallpox, the Body, and Social Relations of Healing in the Eighteenth Century: *Bull. Hist. Med.*: 80 (2) 247–268
- GRONLIE, Tore: Norwegian General Hospitals, 1970–2002: County Ownership — An Interlude between Welfare Localism and State Direction: *Medical History*: 50 (2) 189–208
- HAMLIN, Christopher: William Pulteney Alison, the Scottish Philosophy, and the Making of a Political Medicine: *Hist. Med. Allied Sci.*: 61 (2) 144–186
- HANLEY, James G.: Parliament, Physicians, and Nuisances: The Demedicalization of Nuisance Law, 1831–1855: *Bull. Hist. Med.*: 80 (4) 702–732
- HIGGINS, Peter M.: The Scurvy Scandal at Millbank Penitentiary: A Reassessment: *Medical History*: 50 (4) 513–534
- HILLIER, Kathryn: Babies and Bacteria: Phage Typing,



- Bacteriologists, and the Birth of Infection Control: *Bull. Hist. Med.*: 80 (4) 733–761
- HIRSHBEIN, Laura D.: Science, Gender, and the Emergence of Depression in American Psychiatry, 1952–1980: *Hist. Med. Allied Sci.*: 61 (2) 187–216
- HOCHMUTH, Christian: Patterns of Medical Culture in Colonial Bengal, 1835–1880: *Bull. Hist. Med.*: 80 (1) 39–72
- HOMEI, Aya: Practical Pursuits: Takano Choei, Takahashi Keisaku, and Western Medicine in Nineteenth-Century Japan: *So. Hist. Med.*: 19 (2) 333–334
- HOMEI, Aya: Birth Attendants in Meiji Japan: The Rise of a Medical Birth Model and the New Division of Labour: *So. Hist. Med.*: 19 (3) 407–424
- HUMPHREYS, Margaret: A Stranger to Our Camps: Typhus in American History: *Bull. Hist. Med.*: 80 (2) 269–290
- HUNTER, Cecily: Medicine of Senescence or Managing a Hospital System: The Resistible Rise of Geriatric Medicine in the State of Victoria: *So. Hist. Med.*: 19 (1) 107–125
- KENNY, Michael G.: A Question of Blood, Race, and Politics: *Hist. Med. Allied Sci.*: 61 (4) 456–491
- KINZELBACH, Annemarie: Infection, Contagion, and Public Health in Late Medieval and Early Modern German Imperial Towns: *Hist. Med. Allied Sci.*: 61 (3) 369–389
- KUDLICK, Catherine J.: Disability and Social Policy in Britain since 1750: A History of Exclusion: *So. Hist. Med.*: 19 (3) 541–542
- KUSHNER, Howard I.: Taking Biology Seriously: The Next Task for Historians of Addiction?: *Bull. Hist. Med.*: 80 (1) 115–143
- LEAVITT, Sarah A.: “A Private Little Revolution”: The Home Pregnancy Test in American Culture: *Bull. Hist. Med.*: 80 (2) 317–345
- LEMAR, Susan: ‘The Liberty to Spread Disaster’ Campaigning for Compulsion in the Control of Venereal Diseases in Edinburgh in the 1920s: *So. Hist. Med.*: 19 (1) 73–86
- LEVENE, A./POWELL, M./STEWART, J.: The Development of Municipal General Hospitals in English County Boroughs in the 1930s: *Medical History*: 50 (1) 3–28
- LINDNER, U./BLUME, S. S.: Vaccine Innovation and Adoption: Polio Vaccines in the UK, the Netherlands and West Germany, 1955–1965: *Medical History*: 50 (4) 425–446
- LOMBARDO, P. A./DORR, G. M.: Eugenics, Medical Education, and the Public Health Service: Another Perspective on the Tuskegee Syphilis Experiment: *Bull. Hist. Med.*: 80 (2) 291–316
- MARKS, Harry M.: “Untill the Sun of Science ... the true Apollo of Medicine has risen”: Collective Investigation in Britain and America, 1880–1910: *Medical History*: 50 (2) 147–166
- MCGOUGH, Laura J.: Demons, Nature, or God? Witchcraft Accusations and the French Disease in Early Modern Venice: *Bull. Hist. Med.*: 80 (2) 219–246
- MCHUGH, Timothy J.: Establishing Medical Men at the Paris Hotel-Dieu, 1500–1715: *So. Hist. Med.*: 19 (2) 209–224
- MCMAHON, Vanessa: Reading the Body: Dissection and the ‘Murder’ of Sarah Stout, Hertfordshire, 1699: *So. Hist. Med.*: 19 (1) 19–35
- MCTAVISH, Lianne: Blame and Vindication in the Early Modern Birthing Chamber: *Medical History*: 50 (4) 447–464
- MEYNELL, G. G.: John Locke and the Preface to Thomas Sydenham’s *Observationes Medicae*: *Medical History*: 50 (1) 93–110
- MICHAELS, Paula A.: Chinese Medicine in Early Communist China, 1945–1963: A Medicine of Revolution: *So. Hist. Med.*: 19 (2) 338–340
- MORUS, Iwan R.: Bodily Disciplines and Disciplined Bodies: Instruments, Skills and Victorian Electrotherapeutics: *So. Hist. Med.*: 19 (2) 241–259
- NOLL, Steven: Mental Illness and Learning Disability Since 1850: Finding a Place for Mental Disorder in the United Kingdom: *So. Hist. Med.*: 19 (3) 547–549
- NUTTALL, Alison: Passive Trust or Active Application: Changes in the Management of Difficult Childbirth and the Edinburgh Royal Maternity Hos-

- pital, 1850–1890: *Medical History*: 50 (3) 351–372
- OSBORN, Matthew W.: *Diseased Imaginations: Constructing Delirium Tremens in Philadelphia, 1813–1832*: *So. Hist. Med.*: 19 (2) 191–208
- PARK, Hyung W.: *Germ, Hosts, and the Origin of Frank Macfarlane Burnet's Concept of "Self" and "Tolerance," 1936–1949*: *Hist. Med. Allied Sci.*: 61 (4) 492–534
- PERRINS, Robert J.: *Needles, Herbs, Gods, and Ghosts: China, Healing and the West to 1848*: *So. Hist. Med.*: 19 (2) 336–338
- PLOTKIN, Mariano B.: *Freud in the Antipodes: A Cultural History of Psychoanalysis in Australia*: *So. Hist. Med.*: 19 (1) 155–157
- PRIOR, Pauline: *Madhouse: A Tragic Tale of Megalomania and Modern Medicine*: *So. Hist. Med.*: 19 (1) 150–152
- PRULL, Cay-Rudiger: *Caught Between the Old and the New — Walther Straub (1874–1944), the Question of Drug Receptors, and the Rise of Modern Pharmacology*: *Bull. Hist. Med.*: 80 (3) 465–489
- QUINLAN, Sean M.: *Inheriting Vice, Acquiring Virtue: Hereditary Disease and Moral Hygiene in the Medicine of the French Enlightenment*: *Bull. Hist. Med.*: 80 (4) 649–675
- QUIRKE, Viviane: *Putting Theory into Practice: James Black, Receptor Theory, and the Development of the Beta-Blockers at ICI, 1958–1978*: *Medical History*: 50 (1) 69–92
- RASMUSSEN, Nicolas: *Making the First Anti-Depressant: Amphetamine in American Medicine, 1929–1950*: *Hist. Med. Allied Sci.*: 61 (3) 288–323
- RAZZELL, P./SPENCE, C.: *The Hazards of Wealth: Adult Mortality in Pre-Twentieth-Century England*: *So. Hist. Med.*: 19 (3) 381–405
- RIJN, Kiran van: *The Politics of Uncertainty: The AIDS Debate, Thabo Mbeki and the South African Government Response*: *So. Hist. Med.*: 19 (3) 521–538
- SADOWSKY, Jonathan: *Beyond the Metaphor of the Pendulum: Electroconvulsive Therapy, Psychoanalysis, and the Styles of American Psychiatry*: *Hist. Med. Allied Sci.*: 61 (1) 1–25
- SAMAYOA, Marianne B.: *More than Quacks: Seeking Medical Care in Late Colonial New Spain*: *Soc. Hist. Med.*: 19 (1) 1–18
- SCHLICH, Thomas: *Trauma Surgery and Traffic Policy in Germany in the 1930s: A Case Study in the Coevolution of Modern Surgery and Society*: *Bull. Hist. Med.*: 80 (1) 73–94
- SCHULTHEISS, Katrin: *La formation des infirmiers en psychiatrie: histoire de l'école cantonale vaudoise d'infirmières et d'infirmiers en psychiatrie 1961–1996*: *So. Hist. Med.*: 19 (1) 152–153
- SCOTCH, Richard K.: *The Disability Pendulum: The First Decade of the Americans with Disabilities Act*: *So. Hist. Med.*: 19 (3) 542–543
- SIVIN, Nathan: *Medieval Chinese Medicine: The Dunhuang Medical Manuscripts*: *So. Hist. Med.*: 19 (2) 334–336
- SKALEVAG, Svein A.: *The Matter of Forensic Psychiatry: A Historical Enquiry*: *Medical History*: 50 (1) 49–68
- SNELDERS, S./KAPLAN, C./PIETERS, T.: *On Cannabis, Chloral Hydrate, and Career Cycles of Psychotropic Drugs in Medicine*: *Bull. Hist. Med.*: 80 (1) 95–114
- SPURGEON, Anne: *Watching Paint Dry: Organic Solvent Syndrome in Late Twentieth-Century Britain*: *Medical History*: 50 (2) 167–188
- STEIN, Claudia L.: *The Meaning of Signs: Diagnosing the French Pox in Early Modern Augsburg*: *Bull. Hist. Med.*: 80 (4) 617–648
- STEWART, John W.: *Child Guidance in Interwar Scotland: International Influences and Domestic Concerns*: *Bull. Hist. Med.*: 80 (3) 513–539
- STORRS, Christopher: *Health, Sickness and Medical Services in Spain's Armed Forces c.1665–1700*: *Medical History*: 50 (3) 325–350
- SUGG, Richard: *'Good Physic but Bad Food': Early Modern Attitudes to Medicinal Cannibalism and its Suppliers*: *So. Hist. Med.*: 19 (2) 225–240
- SUZUKI, Akihito: *The Dr Ikkaku Ochi Collection: Medical Photographs from Japan around 1900*: *So.*

- Hist. Med.: 19 (2) 331–333
- TAYLOR, Kim: Bodies of Difference: Experiences of Disability and Institutional Advocacy in the Making of Modern China: *So. Hist. Med.*: 19 (2) 340–341
- TESTER, F.J./MCNICOLL, P.: ‘Why Don’t They Get It?’ Talk of Medicine as Science. St Luke’s Hospital, Panniqtuuq, Baffin Island: *So. Hist. Med.*: 19 (1) 87–106
- THOMAS, Duncan P.: Thomas Vicary and the Anatomy of Mans Body: *Medical History*: 50 (2) 235–246
- TURNER, Angela: Witnesses to Change: Families, Learning Difficulties and History: *So. Hist. Med.*: 19 (3) 545–547
- WATSON, Katherine D.: Medical and Chemical Experience in English Trials for Criminal Poisoning, 1750–1914: *Medical History*: 50 (3) 373–390
- WEISSE, Allen B.: The Elusive Clot: The Controversy over Coronary Thrombosis in Myocardial Infarction: *Hist. Med. Allied Sci.*: 61 (1) 66–78
- WELSHMAN, John: Compulsion, Localism, and Pragmatism: The Micro-Politics of Tuberculosis Screening in the United Kingdom, 1950–1965: *So. Hist. Med.*: 19 (2) 295–312
- WICKHAM, Parnel: Idiocy in Virginia, 1616–1860: *Bull. Hist. Med.*: 80 (4) 677–701
- WILSON, Daniel J.: Cultural Locations of Disability: *So. Hist. Med.*: 19 (3) 544–545